

平成29年度事業報告

本格的な人口減少社会の到来や世帯規模の縮小、単身世帯の増加等の社会構造の変化を背景に、家族や地域の支え合い機能が低下する中、複雑化・多様化する福祉ニーズや社会的孤立、虐待、経済的困窮、貧困の世代間連鎖など従来の福祉制度の枠組みだけでは捉えきれない課題への対応が求められています。

とりわけ、全国を上回るスピードで少子高齢化・人口減少が進行している本県においては、住民自ら地域の福祉課題を発見し、解決につなげることができる地域コミュニティの形成が求められており、活発な住民活動の推進や、これらの課題に福祉施設・団体、関係機関、専門職、住民、行政等が協働して解決に取り組むためのシステムづくりが重要な課題となっています。

こうした情勢の中、本会としては、「ともに生き、ともに支え合う福祉社会の実現」を基本理念とする第4次活動推進計画に基づき、誰もが住み慣れた地域で人や社会とのつながりを持ちながら、自分らしく安心して暮らすことができる地域づくりを目指し、以下の基本目標のもと、ケアネット活動等の小地域福祉活動の推進やボランティア活動、福祉教育の推進、日常生活自立支援事業、福祉人材確保対策事業など、地域福祉の視点から民生委員・児童委員等社会福祉事業関係者はもとより、保健、医療、教育等関連分野との連携・協働を図りながら事業を実施しました。

【基本理念】 「ともに生き、ともに支え合う福祉社会の実現」

基本目標1 「あらゆる福祉・生活課題を受け止め、解決に向けて寄りそいます」

基本目標2 「誰もがつながり、支え合う地域づくりをすすめます」

基本目標3 「福祉を担うひとづくりと福祉サービスの向上に取り組めます」

本会が実施した主な取り組みは、次のとおりです。

- (1) 地域総合福祉推進事業（ふれあいコミュニティ・ケアネット21）を実施し、「地域見守り相談支援システム」を整備、住民主体による地域福祉推進に取り組む市町村社協への支援や基盤強化に努めるとともに、生活困窮世帯等への総合支援資金、教育支援資金、臨時特例つなぎ資金等各種生活福祉資金の貸付や相談体制の強化を図りました。
- (2) 地域包括ケアシステム推進に向け、地域における「生活支援コーディネーター」の活動状況に関する情報交換会を開催し、今後の課題や情報の共有化を図りました。
- (3) 「富山県東部生活自立支援センター」の運営を受託し、生活困窮者自立支援法に基づく自立相談支援等を実施するとともに、市町村社協職員を対象とした事例検討会や多職種連携に向けた協議を行いました。
- (4) 小地域で学校や地域住民、様々な関係機関・団体等が連携して福祉教育を推進していくための「福祉教育サポーター養成確保事業」を実施しました。
- (5) 市町村社協が主体となり「社会福祉法人連絡会（地域協議会）」等を設置して、社協と社会福祉法人・施設が地域の福祉課題を共有し、制度の狭間にある課題解決に向けた協働の取り組みを進めていくために「社会福祉法人地域公益活動推進事業」を実施しました。
- (6) 福祉人材の確保・定着を図るため、新任介護職員のネットワーク形成を目指した合同入職式の実施や中堅介護職員を応援するための表彰、イメージアップ・テレビCMの作成、ラジオ番組による福祉・介護職場の魅力発信、介護職員募集案内冊子の作成・配布等を行いました。

【推進項目 1】

身近な地域に（生活圏域）における総合相談体制の構築による包括的な支援の提供

住み慣れた地域で安心して暮らしていくためには、福祉・生活課題について住民自らが主体的に解決していくことが重要です。しかし、地域には経済的困窮や社会的孤立等を含め多様な課題が多くあり、住民だけでは解決できないものがあります。

また、課題を抱える家族は、高齢者から子ども・障がい者等様々な構成で成り立っていることもあり、家族全体を捉えながら、本人の自己決定を基本におき支援をすることが求められます。そこで、専門職と地域住民の連携とフォーマル、インフォーマルな社会資源の活用や開発を含めた包括的な支援や活動の推進に取り組みました。

1 住民のあらゆる福祉・生活課題に対応するための全世代・全対象型の相談体制の構築による包括的な支援の提供

(1) 小地域（日常生活圏域）における住民主体の助け合い活動の拡充

① 小地域福祉活動推進事業

ア 地域総合福祉活動（ふれあい型・ケアネット型・融合型）事業

小学校区をエリアとした、いきいきサロン等福祉コミュニティの振興と要支援者に対する個別援助活動への助成

15 市町村 262 地区で実施、助成総額 30,499,000 円

イ 地域総合福祉活動ケアネットセンター運営事業

ケアネット型事業を実施する市町村社協に対しコーディネーター業務費用等助成

15 市町村社協で実施、助成総額 31,750,000 円

ウ 地域総合福祉活動ケアネット活動支援事業

ケアネット型事業を実施する社協及び地区に対する助言指導、ケアネット活動の普及啓発事業等

- ・ ケアネット活動普及啓発事業（パンフレット 4,000 部を作成し、研修会・地区懇談会等での配付)
- ・ ケアネットアドバイザー派遣事業の実施
市町村社協及び地区社協で開催するケアネット活動に関する研修会へ講師の派遣を行った。
- ・ ケアネット支援職員配置事業
- ・ ケアネット活動コーディネーター研修事業
(第 1 回) 平成 29 年 7 月 6 日 (木) ~7 月 7 日 (金)
TONAMI 翔凜館 参加者：19 名
砺波市 2 地区（出町地区社協・雄神地区社協）の地域アセスメント
(第 2 回) 平成 29 年 9 月 20 日 (水)
サンシップとやま 参加者：17 名
ケアネット活動推進のための課題抽出と具体的な取り組みの検討
(第 3 回) 平成 29 年 12 月 7 日 (木)
サンシップとやま 参加者：18 名
ケアネット活動推進のための課題抽出と具体的な取り組みの検討
- ・ 富山県地域総合福祉ケアネット活動評価検討委員会
平成 30 年 3 月 8 日 (木) サンシップとやま

ケアネット活動推進のための今年度の実施状況及び来年度の計画、本事業の方策の報告、及び今後の本事業推進に向けた意見を伺った。

・ ケアネット活動リーダー研修会の開催

平成 29 年 11 月 9 日（木） 富山県民共生センター サンフォルテ

基調講演「地域力強化とケアネット活動の方向性

～地域包括ケアに向けた取組みとケアネット活動～」

講師 富山福祉短期大学 専攻長・准教授 宮嶋 潔 氏

シンポジウム

コーディネーター 宮嶋 潔 氏

シンポジスト 富山市熊野校下社会福祉協議会会長 寺林 武則 氏

滑川市西加積地区社会福祉協議会会長 高橋 啓子 氏

舟橋村民生委員児童委員副会長 古川 笑子 氏

参加者：富山地区ケアネット活動リーダー等 52 名

平成 29 年 12 月 14 日（木） 協同組合 高岡問屋センター

基調講演「地域力強化とケアネット活動の方向性

～地域包括ケアに向けた取組みとケアネット活動～」

講師 富山福祉短期大学 専攻長・准教授 宮嶋 潔 氏

シンポジウム

コーディネーター 宮嶋 潔 氏

シンポジスト 高岡市定塚校下社会福祉協議会会長 江尻 紀子 氏

射水市大島地区社会福祉協議会ケアネット活動リーダー

春日 佑治 氏

氷見市宇波地区社会福祉協議会副会長

浜野 成夫 氏

参加者：高岡地区ケアネット活動リーダー等 72 名

（２）地域における総合相談体制の構築

① 生活福祉資金(総合支援資金、福祉資金、教育支援資金、不動産担保型生活資金)、臨時特例つなぎ資金の貸付

ア 運営委員会の開催（年 7 回：5/9、8/10、9/15、10/11、11/15、1/17、3/14）

イ 生活福祉資金の貸付決定実績：252 件、43,711,046 円

ウ 臨時特例つなぎ資金貸付決定実績：1 件、69,000 円

エ パンフレット「生活福祉資金貸付制度のご案内」 一般向け版 3,000 部

オ 生活福祉資金利子補給：4 件 63,917 円

カ 借受世帯への個別支援活動

キ 債権管理の強化と不良債権（職権免除を含む）の整理

② 生活困窮者自立支援対策推進事業

ア 生活困窮者自立支援のための事例検討会の開催

平成 29 年 12 月 6 日（水） サンシップとやま 参加者：30 名

生活困窮者自立支援事業と生活福祉資金貸付事業の連携を強化するため、両事業の担当者との合同研修会を開催し、生活困窮者の事例検討を通じて双方の制度の理解を深めた。

イ 県民及び福祉関係者への制度周知

民生委員児童委員や地区社協等の研修会において、「生活困窮者自立支援制度」について

の説明し、制度の周知を図った。

③ 東部生活自立支援センター運営事業

富山県魚津総合庁舎内に設置した「富山県東部生活自立支援センター」において、県東部 8 市町村（魚津市、滑川市、黒部市、舟橋村、上市町、立山町、入善町、朝日町）を対象に「自立相談支援事業」及び「就労準備支援事業」を実施

ア 新規相談受付件数：87 件、支援プラン策定件数：39 件、自立相談支援事業による就労件数：21 件

イ 巡回相談及び出張相談の実施：毎月 1 回、8 市町村社協において巡回相談を行うとともに出張相談も実施した。

ウ 就労準備支援事業の一環として、模擬面接、履歴書作成支援、体力づくりウオーキング等を実施した。

エ 富山県弁護士会との連携により、毎月 1 回、法律相談を行うとともに、生活困窮者の消費者被害や債務整理の実例を学ぶ学習会を開催した。

④ 総合相談体制の強化

ア 高齢者相談業務担当職員研修会の開催

地域包括支援センター等の職員を対象に、相談援助技術の向上を図るため研修会を実施
平成 30 年 3 月 20 日（火） ボルフアートとやま 参加者：67 名

事例発表「多職種連携のもと取り組んだ事例」

発表者 大久保・船嶽地域包括支援センター 管理者 出町 万里 氏

講演「相談援助職に求められるもの」

講師 社会福祉法人一誠会 常務理事 偕楽園ホーム 施設長 水野 敬生 氏

イ 市町村社協相談員研修会の開催

市町村社協が行う相談事業の相談員（社協職員、民生委員・児童委員）を対象に援助技術や援助事例をもとに、研修会を実施し相談員の資質向上を図る。

（3）市町村社協の基盤強化支援及び役職員の資質向上

① 市町村役職員セミナーの開催

平成 30 年 3 月 19（月） 富山市・市町村会館 参加者：51 名

講師 ルーテル学院大学大学院 名誉教授 和田 敏明 氏

② 地域福祉推進担当者会議の開催

市町村社協の地域福祉担当、ボランティア担当、生活福祉資金貸付担当、日常生活自立支援事業担当、生活困窮者自立支援事業担当者を対象に今後の活動方針を協議

第 1 回 平成 29 年 5 月 19 日（金） ボルフアートとやま 参加者：63 名

内容：地域福祉の動向、各担当から新年度事業説明、次年度予算、新規・重点事業の説明等について

③ 市町村社協職員研修・支援事業

平成 29 年 11 月 24 日（金） ボルフアートとやま 参加者：10 名

講義 I 「社会福祉協議会の基本理念と職員に求められているもの」

県社協 地域福祉・ボランティア振興課 課長 池田 浩一郎

実践報告「住民の期待と地域の協働」

報告者 氷見市社会福祉協議会地域福祉課長 山田 哲也 氏
演習「市町村社会福祉協議会の役割について考える」

演習指導者 氷見市社会福祉協議会 主幹 山田 哲也 氏
入善町社会福祉協議会 事務局次長 浦田 実 氏

④ 住民主体の地域ケア会議推進事業

地域ケア会議の手法とファシリテーター養成講座 受講者6名、聴講者5名
第1回 平成29年6月10日(土)～11日(日) サンシップとやま

○講義 「ケア会議の進め方」及び「司会進行技術について」

講師 半田市社会福祉協議会ふくし支援グループ長 前山 憲一 氏

○実践事例検討「実践事例の報告と振り返り」魚津市社協、黒部市社協

○事例検討 3事例

第2回 平成29年7月21日(金) サンシップとやま 事例検討 3事例

⑤ 市町村社協巡回指導

「地域福祉活動計画」の改訂に取り組む市町村社協への職員派遣、市町村社協及び各地区社協が行う地区懇談会へのアドバイス、地域福祉推進員等の研修会への講師派遣、情報提供等
地域福祉活動計画策定済：14市町

⑥ 地域から期待される社会福祉協議会のあり方研究会の設置

「地域共生社会」(「我が事」「丸ごと」)の実現が国の基本指針となり、社協の地域福祉活動に関係の深い地域力強化検討会によりとりまとめが公表された。これを基に、これまで社会福祉協議会が地域で担ってきた役割や新たな役割を確認するとともに、新しいステージに対応できる地域から期待される社会福祉協議会のあり方、実践のフロントラインにある社協職員の目指すべき姿(能力)について考察した。

第1回研究会 平成30年2月8日(木) サンシップとやま

○地域力強化検討会中間とりまとめから見る社協職員に求められる力について

第2回研究会 平成30年3月29日(木) サンシップとやま

○研究のまとめ(素案)について

(4) 地域包括ケアシステムの推進と地域包括支援センター等との連携・協働の取組み強化

① 地域包括ケア推進事業

情報交換会の開催

総合事業、新地域支援事業の推進に向けて、実施市町村社協による情報交換会を開催した。

平成30年3月2日(金) サンシップとやま 参加者：22名

・総合事業、新地域支援事業の取組み状況、ふれあいコミュニティケアネット21との連携等情報交換

・ワークショップ

(5) 民生委員・児童委員との連携・協働

① 富山県民生委員児童委員協議会の活動支援

ア 全社協が主催する民生委員児童委員のための相談技法研修会への派遣

・ 相談技法研修 平成29年8月21日(月)～22日(火)

新横浜国際ホテル(神奈川県横浜市) 2名派遣

イ 民生委員・児童委員研修

- ・ 市町村・地区民生委員児童委員会会長研修
平成 29 年 6 月 8 日（木）～9 日（金） 金太郎温泉
参加者：164 名 研修報告・講義
- ・ 市町村民生委員児童委員協議会会長・副会長研修会
- ・ 中堅民生委員・児童委員研修
平成 29 年 8 月 21 日（月） サンシップとやま
参加者：281 名 基調講演・活動実践報告
- ・ 新任民生委員・児童委員研修
平成 29 年 11 月 30 日（木） 富山国際会議場
参加者：477 名 講義
- ・ 民生委員・児童委員課題別研修（年 2 回）
第 1 回：平成 30 年 2 月 19 日（月） 富山県高岡文化ホール
第 2 回：平成 30 年 2 月 20 日（火） ボルフアートとやま
参加者 計 161 名（第 1 回 47 名、第 2 回 114 名） 講義・事例検討
- ・ 主任児童委員・児童委員合同研修
平成 30 年 1 月 26 日（金） 富山国際会議場
参加者：386 名（主任児童委員 187 名、児童委員 199 名） 基調講演・シンポジウム
- ・ 心配ごと相談員・民生委員児童委員相談援助技術研修会
平成 29 年 12 月 15 日（金） 富山県市町村会館 参加者：56 名
講義「相手の障害等に合わせた関わり方」
演習
講師 富山福祉短期大学 社会福祉学科 専攻長/教授 鷹西 恒 氏

② 民生委員児童委員互助共励事業の実施

全国互助共励事業 52 件、678,000 円

（6）福祉のまちづくり活動の推進

① 富山県民福祉推進会議の開催

平成 29 年 7 月 26 日（水） サンシップとやま

議事：平成 28 年度事業報告、平成 29 年度事業計画、会長・副会長の選出について

地域福祉関連事業の説明

「富山県の子育て支援・少子化対策の取り組み」

富山県総合政策局少子化対策・県民活躍課

福祉のまちづくり推進に関する意見交換 福祉のまちづくり宣言

② やさしい福祉のまちづくり賞の表彰と普及・啓発

- ・ 第 19 回「やさしい福祉のまちづくり賞」表彰選考審査会の開催

平成 29 年 10 月 4 日（水） サンシップとやま

- ・ 福祉のまちづくり賞大賞等の表彰（活動や取り組みの部門）まちづくり賞 2 点
（施設等の部門） まちづくり賞 2 点

③ 福祉フォーラムの開催

- ・ 第 21 回福祉フォーラムの開催

テーマ「子どもたちを育てる地域の輪 ～さあ、あなたも一歩目を～」

平成 29 年 11 月 19 日（日） サンシップとやま 参加者：150 名

パネラー	富山大学 理事/副学長	神川 康子 氏
	北陸青少年自立援助センター 理事長	川又 直 氏
	ふれあいフリースクールせいさ☆ういず 代表	高野 愛 氏
	赤いふうせん放課後児童クラブ 代表	寺林 芳香 氏
コーディネーター	北日本放送株式会社 アナウンサー	平島 亜由美 氏

（7）福祉関係団体とのネットワーク構築

① 社会福祉施設・団体正副会長連絡会議の開催

県段階の福祉関係団体の正副会長及び理事を対象とし、社会福祉を取り巻く情勢等に関する会議を開催

平成 30 年 1 月 25 日（木） 富山県民会館

テーマⅠ「地域共生社会の実現に向けた福祉のまちづくりの推進について」

Ⅱ「社会福祉法人の今後のあり方について」

Ⅲ「福祉人材の確保・定着・育成の取り組みについて」

参加者：14 団体、15 名

② 富山県社会福祉推進関係者新年度交歓の集いの開催

県内福祉関係者が一堂に会し、意見交換など親しく交流する機会を提供することにより、新年度における社会福祉事業の円滑な推進と連携に資した。

平成 29 年 4 月 28 日（金） 富山県民会館

参加者：99 名（行政・社会福祉協議会・福祉関係団体）

（8）各種福祉団体への支援・協力

① 各種福祉団体の事務局受託（5 団体）

富山県保育連絡協議会、富山県老人福祉施設協議会、富山県デイサービスセンター協議会、富山地域包括・在宅介護支援センター協議会、富山県ホームヘルパー協議会への支援

② 在宅心身障害児通園訓練事業への助成

③ 県母子寡婦福祉連合会、県母親クラブ連合会等への助成

④ 福祉団体活動等への支援 「保育所長専門講座」受講助成事業

（9）各種ニーズに対応した福祉総合相談体制の充実

① 福祉総合相談センターの運営

ア 福祉なんでも相談の実施

イ 県内社会福祉等関係施設一覧の発行及び関係先への配布 600 部

② 高齢者総合相談センターの運営

ア 高齢者及びその家族などが抱える生活・保健・福祉等に係る心配ごと、悩みごと等の各種相談に電話・来所・Eメール等により応じる。

悩みごと相談（一般相談員）2,134 件

専門相談(弁護士、税理士、社会保険労務士、保健師) 1,200 件

認知症ほっと電話相談(保健師・看護師) 18 件

総相談件数 3,352 件 うち、一日出張相談所 12 か所 407 件

イ 高齢者関係相談機関連絡協議会の開催

平成 29 年 8 月 9 日(水) サンシップとやま

構成：16 機関・団体

ウ シルバー 110 番だよりの発行 年 4 回 各 1,100 部

③ 障害者権利擁護・虐待防止推進事業

ア 連携協力体制整備事業

- ・ 障害者虐待防止ネットワーク協議会の開催

平成 30 年 2 月 22 日(木) 富山県民会館

構成：21 機関・団体

- ・ 利用者からの虐待に関する通報・届出の受理
- ・ 障害者及び養護者支援に関する相談対応
- ・ 障害者虐待の防止に関する情報の収集・提供

イ 障害者権利擁護・虐待防止研修事業

- ・ 障害者権利擁護・虐待防止研修会の開催

平成 29 年 11 月 15 日(水) ボルファートとやま 参加者：117 名

講義Ⅰ「障害者虐待防止法の概要及び富山県の現状について」

講師 富山県障害福祉課自立支援係長 岩城 弘幸 氏

講義Ⅱ「事業所における虐待防止体制の整備に向けて」

講師 社会福祉法人北摂杉の子会 理事長 松上 利男 氏

コース別に事例を基に演習

『障害者福祉施設等における障害者虐待防止の対応研修コース』

「職場内研修用小冊子を用いた演習」 参加者：48 名

『権利擁護・虐待防止センター担当職員等研修コース』

「障害者虐待における自治体の取り組み・対応方法」

講師 有限会社ケアサポート徳山代表取締役

徳山大学福祉情報学部 非常勤講師 服部 恭弥 氏

「知的障害者のコミュニケーション特性と面接技術」

講師 富山県立黒部学園次長 森田 和也 氏

参加者：13 名

ウ 普及啓発事業

- ・ 障害者虐待防止リーフレットの作成・配布 作成数：20,700 部

配布先 福祉サービス事業提供法人他関係機関(387 か所)、

スーパーマーケット、コンビニエンスストア等(320 店舗)

④ 難病相談・支援センター事業

ア 難病患者等に対する個別相談(専門医・社会保険労務士による相談含む)

- ・ 相談支援業務 実人数 673 名、延人数 3,320 名

- ・ ピアサポーターによる相談 14 回 相談者：延 23 名

イ 難病患者に対する就労支援

- ・就労支援者数 152名（延944名）
- ・就労相談会（難病患者就職サポーター） 10回 13名
- ・職場訪問等 11回
- ・「難病のある人の就労ガイドブック～改訂版～」 1000冊作成

ウ 講演会、研修会等の開催（患者・家族・支援者等）

・講演会・研修会

平成29年7月1日(土) 「ステロイド・免疫抑制剤について」 参加者：75名

講師 富山大学附属病院 免疫・膠原病内科 副科長 篠田 晃一郎 氏

平成29年9月16日(土) 「全身性エリトマトーデス（小児含む）」 参加者：41名

講師 富山大学附属病院 免疫・膠原病内科医師 津田 怜奈 氏

平成29年10月28日(土) 「突発性拡張型心筋症・肥大型心筋症」 参加者：12名

講師 富山大学附属病院 循環器内科 診療講師 平井 忠和 氏

平成29年11月18日(土) 「間脳下垂体機能障害（小児科含む）」 参加者：25名

講師 富山大学附属病院 第一内科 診療教授 岩田 実 氏

平成29年12月12日(火) 難病患者支援（保健師）研修会 参加者：15名

講師 富山大学附属病院 神経内科 診療准教授 田口 芳治 氏 他

平成30年2月6日(火)/16日(金) 「難病患者等ホームヘルパー養成研修」 参加者：20名

講師 富山大学附属病院 神経内科 診療准教授 田口 芳治 氏 他

平成30年3月1日(木) 「支援者のためのパーキンソン病研修会」 参加者：39名

講師 独立行政法人 国立病院機構 医王病院 第一診療部長 高橋 和也 氏 他

平成30年3月17日(土) 「難病就労支援セミナー」 参加者：42名

講師 NPO法人日本慢性疾患セルフマネジメント協会 事務局長 武田 飛呂城 氏

・疾患別交流会

平成29年6月17日(土) 慢性炎症性脱髄性多発神経炎 参加者：10名

平成29年7月15日(土) 脳脊髄液減少症 参加者：8名

平成29年10月13日(土) 重症筋無力症 参加者：10名

平成29年12月16日(土) 多発性硬化症/視神経脊髄炎 参加者：8名

・ピアサポーター養成講座

第1回 平成29年7月22日(土) 「患者の力」 参加者：34名

講師 慶應義塾大学看護医療学部 教授 加藤 眞三 氏

第2回 平成29年12月2日(土) 「私たちが利用できる福祉サービス」 参加者：22名

講師 南砺市地域包括支援センター 副主幹 竹内 嘉伸 氏

・慢性疾患セルフマネジメントプログラムワークショップ

平成29年10月21日～11月25日（全6回） 参加者：9名（延47名）

リーダー 日本慢性疾患セルフマネジメント協会 認定リーダー 南 俊彦 氏他

オ 厚生センター・保健所との連携・技術支援

・難病就労相談会

平成29年8月30日(水)・9月1日(金) 高岡厚生センター 相談者：4名

・難病療養相談会

平成29年10月18日(水) 富山市北保健福祉センター

カ 難病患者の支援啓発事業

対象：医療・介護者を目指す学生 7回 計607名

- キ 交流サロン&ミニセラピー（7回）参加者：96名
講師 西尾薬局 薬剤師 西尾 茂美 氏他
- ク 「富山県難病相談・支援センターだより」の作成・配布
関係機関及び全国の難病相談・支援センターに配布
- ケ 地域支援 講義：3回、ケア会議出席：6回
- コ 患者会支援 総会、交流会、研修会等に協力 23回
- サ アドバイザー会議 11回

⑤ 若年性認知症相談・支援センター事業

- ア 若年性認知症の人・家族等に対する個別相談、就労支援
 - ・相談支援業務 実人数 58名、延人数 376名
- イ 支援者のための若年性認知症研修会の開催
 - ・平成 29 年 10 月 26 日（木） 参加者：保健・医療・福祉関係者等 47 名
「若年性認知症の本人・家族の抱える思い、そして伝えたいこと」
講師 当事者 山田 真由美 氏他
- ウ 医療・介護・福祉・雇用関係者とのネットワーク会議開催
 - ・平成 30 年 2 月 9 日（金） 出席者：医療・介護・福祉・労働・行政等 45 名
報告・意見交換「若年性認知症患者の社会参加の取組みについて」
意見交換・助言者 光ヶ丘病院地域連携室看護師長 林 浩靖 氏
- エ 認知症カフェ運営関係者連絡会
 - ・平成 29 年 10 月 27 日（金） 出席者：認知症カフェ関係者 25 名
講演「若年性認知症の当事者と家族を受け入れるために」
講師 名古屋認知症相談支援センター 専門担当職員 鬼頭 史樹 氏
- オ 若年性認知症の本人と家族の交流会
 - ・平成 29 年 6 月 10 日（土） 参加者：6 組 12 名
 - ・平成 29 年 11 月 4 日（土） 参加者：5 組 10 名
- カ 障害者就労支援事業所における若年性認知症の人の受入れに関する調査
対象数：183 か所 調査日：平成 29 年 8 月 31 日現在 有効回答数：142（77.6%）
- キ 「若年性認知症ハンドブック」の作成
1,000 冊（本人と家族用、関係機関に配布）
- ク 地域支援 講義・講演：3回、会議出席：4回
- ケ リーフレット、ポスターの作製・配布

⑥ がん総合相談支援センター事業

- ア がん患者・家族等の個別相談
 - ・相談総延べ数 1,108 件 うち再利用 701 件（63.3%）
（面接相談 846 件 電話相談 262 件）
- イ がんピアサポーター養成講座
 - ・養成講座 8 回 受講者：14 名 修了者：11 名 活動登録者：9 名
第 1 回 平成 29 年 9 月 16 日（土）ピアサポーターについて等 参加者：14 名
第 2 回 平成 29 年 10 月 15 日（日）ピアサポートとは何か等 参加者：12 名
第 3 回 平成 29 年 11 月 11 日（土）子宮がんに関する基礎知識、がんと就労
参加者：8 名

- 第4回 平成29年12月9日(土) 肺がんの基礎知識、化学療法と看護 参加者:7名
- 第5回 平成30年1月21日(日) 胃・大腸、乳がんに関する基礎知識 参加者:10名
- 第6回 平成30年2月4日(日) 模擬交流サロン 参加者:8名
- 第7回 平成30年2月20日(火) がん診療連携拠点病院の見学 参加者:7名
- 第8回 平成30年3月4日(日) ピアサポーターのコミュニケーション技法等
参加者:9名

ウ がんピアサポート活動

- ・がん患者・家族等の交流サロン 毎月第4土曜日 開催12回 参加者延べ182名
- ・グリーンケアの会 3回 参加者延べ27名

エ がんピアサポート活動支援

- ・県内がん診療連携拠点病院でのピアサポート活動

黒部市民病院 5回	富山県立中央病院 8回	富山大学附属病院 3回
厚生連高岡病院 6回	市立砺波総合病院 6回	計 28回

- ・「がん教育」の講師
 - ・「女性のためにがん対策フォーラム」トークセッション
 - ・「がん予防に関する研修会」仕事と治療の両立について
 - ・がんピアサポーターフォローアップ研修会
- } にピアサポーター
1名ずつ派遣

第1回 平成29年4月15日(土) サンシップとやま 参加者:55名
がん総合相談支援センター事業、29年度がんピアサポート活動について

第2回 平成29年7月9日(日) サンシップとやま 参加者:16名
模擬交流サロン

第3回 平成29年8月27日(日) サンシップとやま 参加者:25名
講義と実技「ピアサポートでの上手な声のかけ方、話の聴き方」
講師 高岡市民病院 臨床心理士 高野 利明 氏

第4回 平成29年11月26日(日1) サンシップとやま 参加者:17名
講義「ピアサポートの原点に返って考えよう」

～行政・参加者・私たちがピアサポートの求めているもの～
グループワーク「サロン参加者が安心して話せる場にするには」

講師 滋賀県がん患者団体連絡協議会 会長 菊井 津多子 氏

オ 講演会の開催(患者・家族等)

- ・小児がん講演会:平成29年8月6日(日) サンシップとやま 参加者:47名
講演「富山県における小児がんへのとりくみ」
講師 富山大学附属病院小児科 講師

小児血液・がん指導医・専門医 野村 恵子 氏

- ・がんピアサポーターによる相談会
- ・小児がん患者・家族の会紹介コーナー

カ がん診療連携拠点病院相談員との連携(情報交換会・研修会)
(情報交換会)

第1回 平成29年7月22日(土) 県立中央病院 参加者:18名

第2回 平成30年1月17日(水) サンシップとやま 参加者:10名

第3回 平成30年3月10日(土) 県立中央病院 参加者:15名

(研修会)

第1回 平成29年7月22日(土) 県立中央病院 参加者:18名

テーマ「がん相談で活用できるコミュニケーションスキル」

講師 がん相談員研修ワーキンググループ

第2回 平成30年3月10日(土) 県立中央病院 参加者:15名

テーマ「社会福祉のコミュニケーションスキルを学ぶ」

講師 富山市民病院 社会福祉士 八木 智矢 氏

キ 情報提供:図書貸出 52冊 ホームページの更新

ク 広報・PR:当センター啓発活動のため、地域等5か所への研修会に講師として参加
・新聞等での広報

2 制度の狭間に対応した新たなサービス・活動の開発

(1) 地域の特性や本人の強みを活かした支援の推進

① コミュニティソーシャルワーク実践者養成研修、フォローアップ研修

ア コミュニティソーシャルワーク実践者養成研修

前期:平成29年11月11日(土)~12日(日)

後期:平成29年12月9日(土)~10日(日)

サンシップとやま、富山県民会館 修了者:8名 協力:NPO法人日本地域福祉研究所

講師 早稲田大学人間科学部健康福祉科学科教授 田中 英樹 氏

助手 呉 恩恵 氏

イ コミュニティソーシャルワーク実践者フォローアップ研修

平成30年2月10日(土) サンシップとやま 参加者:8名

講師 早稲田大学人間科学部健康福祉科学科教授 田中 英樹 氏

内容:事例からコミュニティソーシャルワークによる支援を検討

② 市町村社協活動強化費助成事業

市町村社協地域福祉活動計画の策定支援、地域課題解決のための新たな生活支援サービスの創出等のための取り組みへの支援

・地域福祉活動計画事業 3市町村社協(南砺市社協、上市町社協、立山町社協)へ助成

・地域サービス創造事業 4市社協(滑川市社協、黒部市社協、砺波市社協、射水市社協)へ助成

③ 市町村社協地域福祉実践研究発表会

「地域共生社会」の実現を基本指針として、社会福祉法の改正をはじめ、関連する法令等の改定がすすめられる中、県内の市町村社会福祉協議会において実施されている様々な実践活動・事業の実践研究発表を開催した。

平成30年1月30日 サンシップとやま 参加者 50名

実践研究報告者 5市町村社協

コメントーター 富山県福祉カレッジ 学長 大橋 謙策 氏

④ 社会福祉協議会会計実務研修会の開催

平成 29 年 12 月 8 日（金） サンシップとやま 参加者：23 名

講義「改正社会福祉法への対応と社会福祉法人会計の実務」

講師 富山県社会福祉協議会監事（経営指導事業専門経営指導員）

あおぞら経営税理士法人代表社員 中村 厚 氏（公認会計士・税理士）

（2）地域における自立生活への支援

障害者が地域でより自立した生活ができるよう、「富山県工賃向上支援計画」に基づき、県内の障害者就労支援事業所で働く障害者の工賃水準の向上を図るための各事業所における具体的な取組みの推進を支援

① 工賃向上支援研修の開催

工賃引上げ推進員等を対象に、工賃向上の考え方と取り組み方法、目標工賃達成のための計画づくりについて学ぶことを目的にテーマ別研修を実施

技術指導研修 平成 29 年 6 月 7 日（水） 富山県市町村会館 受講者：23 名

工賃向上引上げ推進員養成・スキルアップ研修 平成 29 年 6 月 30 日（金）

サンシップとやま 受講者：25 名

自主製品創出・改良研修 平成 29 年 7 月 19 日（水） サンシップとやま 受講者：13 名

新分野との連携研修 平成 29 年 9 月 22 日（金） サンシップとやま 受講者：17 名

企業等連携研修 平成 29 年 11 月 17 日（金） サンシップとやま 受講者：11 名

② 地域との連携強化

共同事業ネットワーク構築事業（共同受注の窓口設置）

③ 「工賃引上げ計画」作成・実行サポートコンサルタント派遣事業

新規コンサルタント派遣を希望する事業所 1 か所

④ 専門技術者受入支援事業

事業所が希望する専門技術者の派遣費用を助成（5 事業所）

3 その人らしい生き方を支援する権利擁護の推進

（1）身近な地域における権利擁護相談支援の推進

① 日常生活自立支援事業を全市町村で実施

相談件数：18,763 件、契約締結件数：新規 74 件

実利用件数：485 件（平成 29 年度末現在）

ア 契約締結審査会の開催

- ・ 第 1 回 平成 29 年 6 月 9 日（金）
- ・ 第 2 回 平成 29 年 9 月 8 日（金）
- ・ 第 3 回 平成 29 年 12 月 8 日（金）
- ・ 第 4 回 平成 30 年 3 月 9 日（金）
- ・ 審査案件 2 件、日常生活自立支援事業利用者の支援に関する助言、契約内容の報告、日常生活自立支援事業報告、運営適正化委員会からの指摘事項に関する対応報告など

イ 生活支援員の確保と養成・登録者研修の実施

- ・ 生活支援員 376 名を配置
- ・ 新規生活支援員養成研修会の開催
平成 29 年 6 月 20 日（火）サンシップとやま 参加者：56 名
- ・ 生活支援員研修会の開催
平成 29 年 11 月 16 日（木）ゴルフアートとやま 参加者：45 名
講義「生活支援員活動における利用者支援のあり方について」
講師 東洋大学 社会学部 社会福祉学科 高山 直樹 氏

ウ 専門員研修の開催

- ・ 平成 29 年 11 月 17 日（金）サンシップとやま 参加者：16 名
専門員から提出された援助事例によりケースカンファレンスを実施
講師 東洋大学 社会学部 社会福祉学科 高山 直樹 氏

エ 関係機関連絡会議の開催

- ・ 日常生活自立支援事業専門員連絡会（3 回）
- ・ 成年後見制度事例研究会の共催（年 6 回 うち 1 回 平成 30 年 1 月 本会主管）
- ・ 成年後見制度無料相談会の共催
（県司法書士会、成年後見センター・リーガルサポート富山県支部主催）

オ 広報・啓発、調査研究の実施

- ・ パンフレットの配布
- ・ 生活支援員だより「よりそい」の発行（年 2 回 各約 760 部）
- ・ 富山県社会福祉士会 ぱあとなあ富山との共催により、「平成 29 年度高齢者・障がい者の権利擁護のための出前講座」の開催（11 か所）
- ・ 全市町村社協を訪問し、利用者の状況確認、預金通帳及び関係書類の確認、事業に関する問題点・課題について調査実施

【推進項目2】

住民が地域福祉活動に主体的に参加するための土壌づくり

地域住民の主体的な地域福祉活動への参加なくしては地域福祉の推進はないことから、住民の地域活動への参加を促すため、幼いころから福祉等へ触れ合う場を持ち、世代に応じた福祉教育を進め、生きがいを持って地域福祉活動に関われる土壌を作る必要があります。

そのために地域住民と共にボランティア活動や地域福祉活動を推進し、安心して暮らせる地域づくりに取り組みました。

1 地域住民の地域福祉活動やボランティア活動への参加促進

(1) ボランティアセンターの機能強化と市民活動との連携・協働への支援

① ボランティア活動拠点の整備

ア ボランティア交流サロンの使用状況（平成30年3月末現在）

利用団体数 824 団体、利用者数 3,912 名

イ ボランティアワークルームの利用状況

利用団体数 542 団体

② 市町村ボランティアセンター活動事業

地域課題、生活課題に対応する地域住民、ボランティアの先駆的、自主的な活動を促進するため、ボランティア活動の一層の振興を図り、市町村社協に助成した。

（ボランティア養成・研修事業、広報・啓発事業、災害救援ボランティア支援事業、調査・研究事業、ボランティアセンター運営事業 15市町村 9,004千円助成）

③ ボランティア活動養成研修事業の実施

ア 施設ボランティア受け入れ研修

平成29年6月20日（火） 富山県民会館 参加者：48名

講義・ワークショップ

「ボランティア活動の特性、課題・弱点」

「ボランティアマネジメントの必要性と流れ」

「福祉施設におけるコーディネーション上の悩み、課題の共有と解決策を探る」

講師 NPO法人日本ボランティアコーディネーター協会

代表理事 唐木 理恵子 氏

イ ボランティアコーディネーター等養成

平成29年6月21日（水） 富山県民会館 参加者：15名

講義・ワーク「ボランティアコーディネーター基礎

～ボランティアのキホン、コーディネーションのキホン」

講師 NPO法人日本ボランティアコーディネーター協会

代表理事 唐木 理恵子 氏

④ ボランティアサポーター設置事業

15市町村社協288名の委嘱を行い、地区でのボランティア活動に関する相談や情報提供、市町村ボランティアセンターの活動等を支援

⑤ ボランティア活動コーディネーター設置事業

市町村ボランティア活動コーディネーターの設置助成（15市町村22名分）

⑥ 県ボランティアセンターの運営

- ・ 運営委員会の開催 年2回(9月、3月)
- ・ 関係会議及び県内外研修会等に参加及び講師出向(全国社会福祉協議会、ブロック社協職員会議、研修会、福祉関係学会、市町村社協の研修等)

(2) 福祉のまちづくりの視点による市民活動団体等との連携・協働

① ボランティア活動の広報、啓発

ア ボランティア情報の提供

- ・ ボランティア情報誌の発行

県社協「福祉とやま」(奇数月に各12,000部発行)の中に、ボランティアグループ・NPO団体や助成金情報等関係の記事を掲載

配布先:市町村社協、市町村行政、県内福祉施設、小中高校、図書館・公民館等
教育施設等

- ・ マスコミ各社、関係機関等に毎週1回ボランティア情報を提供、県社協ホームページにボランティア情報等を掲載

イ ボランティアガイド作成・配布

ボランティア活動メニュー等を記載したハンドブックを1,200部作成・配布

② 「ボランティア活動強調月間事業」の実施協力

10月の強調月間中の10月2日に富山駅でのチラシ等配布、県内各市町村社協がボランティアフェスティバル等の開催

③ 社会人・企業の社会貢献活動ナビ事業

ア アクティブシニア地域デビュー講座

退職する団塊の世代の経験や知識、パワーをボランティア・NPO活動への参加により、地域社会に活かすため、県内2か所で講座を開設

(富山会場)

(第1回)平成30年2月17日(土)富山市総合社会福祉センター 参加者:54名

「はじめてみようボランティア」講師 富山市社会福祉協議会職員

「バルーンアートを学ぼう」講師 加藤 陽奈雄氏

(第2回)平成30年2月24日(土) サンシップとやま 参加者:48名

「はじめてみようボランティア」講師 富山市社会福祉協議会職員

「整理・整頓のコツを学ぼう」講師 整理収納アドバイザー

山谷 理恵氏

(第3回)平成30年3月3日(土) 富山市総合社会福祉センター 参加者:38名

活動紹介・情報交換 傾聴で支える富山 代表 安藤 勝義氏

住友ちょこっと手伝い隊 隊長 近藤 千鶴子氏

(高岡会場)

(第1回)平成29年11月1日(水) 高岡市ふれあい福祉センター 参加者:12名

講義「高岡市の地域福祉?みなさんの力が必要です!」

講師 高岡市福祉保健部長 吉澤 実氏

(第2回)11月~12月 ボランティア体験 参加者:13名

「自分が住む地域の活動に参加してみよう!」

(第3回) 平成29年11月30日(木) 高岡市ふれあい福祉センター 参加者:12名
「住民が主体の支え合い体制を構築するために」

コーディネーター 富山県社協 地域福祉部長 古野 智也

(第4回) 平成30年1月31日(水) 高岡市ふれあい福祉センター 参加者:6名
「私たちに何ができるだろう?一緒に考えましょう!」

イ 企業の社会貢献セミナーの開催

(魚津会場)

平成29年10月27日(金) 新川文化ホール 参加者:14名

基調講演「地域に密着した企業の社会貢献活動」

講師 NPO法人日本NPOセンター

SDGs 事業プロデューサー 新田 英里子 氏

(富山会場)

平成30年2月27日(火) 高志会館 参加者:40名

基調講演「地域に密着した企業の貢献活動」

講師 有限会社荒木商会 代表取締役社長

一般社団法人はたらくよろこび 理事 荒木 信幸 氏

パネルディスカッション

コーディネーター

NPO法人日本NPOセンター 特任理事 田尻 佳史 氏

パネリスト

株式会社オフィス・ケイ 代表取締役 川岸 広幸 氏

株式会社アルト 常務取締役 前田 隆 氏

④ ボランティアグループ活性化等発掘支援事業

ボランティアグループ、NPO団体の活動の立ち上がり支援並びに子育て支援活動のボランティア団体支援のための助成を行った。

設立後、間もないボランティアグループ 10団体 1,800千円 助成

2 子どもから大人までの幅広い世代への福祉教育の推進

(1) 福祉教育・ボランティア学習の推進

① 福祉教育地域指定推進事業

学校と地域、市町村ボランティアセンター等が企画段階から協働し、地域の社会資源を活かした福祉教育・ボランティア体験学習を実施するため、14市町村社協(14か所)を指定

② 福祉教育サポーター養成確保事業

身近な地域(地元)で、多様な団体、学校、地域が協働で取り組めるよう「福祉教育」を取り組む「福祉教育サポーター」の養成確保事業を小矢部市社協、上市町社協、入善町社協で実施した。更に本年は、魚津市社協において養成確保のための検討会を開催するとともに市内各学校へのアンケート調査等を行った。

県社協では、「福祉教育サポーター推進委員会」を年1回開催し、実施市町村社協の進捗状況の把握や今後の支援について検討した。

平成30年3月20日(火) サンシップとやま

③ 高校生介護等体験特別事業

県立雄山高校と富山第一高校の2校を平成27年～29年指定し、介護体験、ボランティア活動等を行った。

④ 教員免許法の特例に基づく「介護等体験」支援事業

17大学302人の学生が希望し、117施設において介護等を体験

⑤ 富山県福祉教育セミナーの開催

平成29年11月8日（水）サンシップとやま 参加者：42名

福祉教育実践から学ぶ～地域（地元）で福祉教育を行うことの意味を考える～

基調講演「地域に根ざした福祉教育」

講師 高知大学教育学部 講師 三ツ石 行宏 氏

活動報告

- ・社会福祉施設における福祉教育の取り組み

社会福祉法人富山聖マリア会 特別養護老人ホーム常楽園施設長 城石 芳人 氏

- ・小・中学校の取り組み 小・中学校の取り組みとして福祉教育を意識したもの

射水市立新湊中学校 教諭 朽木 桃代 氏

- ・高校の福祉教育

介護等体験特別事業指定校

富山第一高等学校 生徒 中川 幸香 さん（活動報告）

教諭 太田 啓子 氏（シンポジウム）

- ・地域住民が福祉を学び、自らの地域課題を解決していく取組事例

魚津市下中島地区社会福祉協議会 飛世 静子 氏

シンポジウム

コーディネーター 高知大学教育学部 講師 三ツ石 行宏 氏

シンポジスト 上記、活動報告者

3 住民と専門職等との協働による地域福祉活動の推進

（1）ケアネット活動による住民と専門職との協働による個別支援と地域支援の推進

① 市町村社協のケアネット活動展開時における専門職等との連携強化の推進

（2）地域における住民と専門職の連携による活動の展開支援

（3）地区社協の強化を目指した市町村社協への支援

① 市町村社協地域福祉活動計画策定時における地域住民と専門職の連携を図る地区社協強化への支援

4 高齢者の社会参加と地域福祉活動への支援

（1）高齢者の生きがいくりの推進

① 「健康と長寿の祭典」開催事業

「いきいきとやま・第30回健康と長寿の祭典」の開催

平成 29 年 11 月 8 日(水)～9 日(木)、富山県民会館 約 4,000 名来場
式典(表彰、講演等)、展示・相談・体験コーナー35、老人若返り祭り等
実行委員会に委託(関係機関・団体計 34、事務局:当会いきいき長寿センター)

② 「全国健康福祉祭(ねんりんピック)」参加事業

「第 30 回全国健康福祉祭あきた大会(ねんりんピック秋田 2017)に選手を派遣
平成 29 年 9 月 9 日(土)～12 日(火)、23 種目、選手 183 名派遣(ほか本部員 15 名)、
美術展 11 点出品、入賞:3 団体、10 個人
県内予選会の開催(15 種目、合計 3,566 名参加)
第 16 回富山ねんりん美術展の開催
平成 29 年 11 月 8 日(水)～9 日(木)、富山県民会館、6 部門で 133 点展示、982 名来場

③ 情報誌(VITA) 発行事業

中高年向け情報誌「VITA(ビタ)」の発行(年 4 回、各 1,800 部)

④ いきいき長寿大学開催事業

- ・すこやか活動講座(富山会場 159 名、高岡会場 139 名、合計 298 名参加)
平成 29 年 6 月～9 月、各会場 7 回、合同会場 1 回、合計 15 回
内容:高齢社会、健康、環境保全、ボランティア、コミュニケーション、人生観、
地域福祉
(最終回は公開講座形式で実施、富山国際会議場、300 名参加)
- ・いきいき脳トレリーダー養成講座(専門的実践講座)
平成 29 年 9 月～1 月、氷見市、7 回コース、46 名参加
内容:脳トレニングの問題づくり、体験活動の進め方、レクリエーション、
「きとくと 100 歳体操」実施場所での体験活動、実習報告会、クラブ設立説明会
- ・脳トレ問題集の発行(県内 7 脳トレクラブ作成、4 回、各 7,800 部)
- ・脳トレサロン(脳トレクラブによる運営、サンシップとやま、6 回、のべ 108 名参加)
- ・脳トレクラブへの支援(代表者会議 1 回、情報交換会 1 回)
- ・「とやま健康・福祉・介護フェア 2018」での脳トレ体験コーナー(4 脳トレクラブ 19 名が
出題、339 名体験)、平成 30 年 3 月 18 日(日)、富山テクノホール

⑤ いきいき友の会事業の運営

会員数(平成 30 年 3 月末現在) 個人 5,833 名、法人・団体 41

ア 個人会員サービス提供事業

- ・情報誌発行事業
情報誌「VITA」の発行(年 4 回、各 5,000 部を会員に送付)
- ・サービスカード発行事業
会員証による割引サービスの実施
割引協力店 76 先 120 店舗) 一覧を 8,000 部発行
- ・友の会フェスティバル開催事業
「第 27 回講演と演芸のつどい」の開催
平成 29 年 7 月 9 日(日) オーバード・ホール 1,254 名来場
講演(タレント 東国原 英夫)、落語(桂 米福)、ものまね(めぐまりこ)
- ・催事割引事業

コンサート、寄席、演劇等のチケット割引サービス（32公演、1,211名利用）

- ・ V I T A旅行会開催事業
6企画を催行、109名参加
- ・ 趣味の講座開催事業
講演会2回（「郷土史」55名参加、「大河ドラマ」関連34名参加）
脳トレサロン（脳トレクラブによる運営、サンシップとやま、4回、のべ85名参加）
自然観察会3回（立山19名、高岡19名、黒部12名参加）
ポールウォーキング体験会1回、12名参加
美術鑑賞講座8回、118名参加
パソコン教室（年賀状）2回、23名参加
生きがいをづくり普及推進員企画事業（パークゴルフ大会1回72名参加、意見交換会1回）

イ 法人会員サービス提供事業

- ・ サービス内容の拡充（年会費相当分の個人会員と同様の特典を付与）
- ・ 情報誌「V I T A」に企業名を掲載

ウ 会員組織の強化

- ・ 既存VITAクラブ32の支援（太極拳、写真、英会話、ハーモニカ、俳句等）
- ・ クラブ主催の新規会員体験講座の開催（5クラブ、78名参加）
- ・ VITAクラブ情報交換会1回

エ 友の会事業研究会

- ・ 会員を対象に「割引サービスアンケート」を実施（回答146名）

（2）高齢者の社会参加活動の促進

① シニアタレント社会活動事業

- ・ 養成研修会の開催
平成30年2月22日（木）～23日（金）、呉羽ハイツ、69名参加
- ・ 登録及び紹介
シニアタレント210名、語り部67名、シニアタレントグループ53
- ・ シニアタレント・語り部バンクニュースの発行（年4回、各6,800部）
- ・ 連絡協議会の開催（委員9名、12回）
- ・ シニアタレント祭りの開催
平成29年9月2日（土）、サンシップとやま、約350名参加
活動発表、合唱、展示、体験コーナー
- ・ 世代間交流会（シニアタレント等が講師）への助成
15件、1,443名参加

② 元気高齢者の仲間づくり支援事業

- ・ サークルの登録及び支援
（元気高齢者サークル24、ねんりん健康運動推進クラブ37、合計61サークル・クラブ）
- ・ ねんりん健康運動普及指導員研修会の開催
（平成29年7月11日（火）、怪我を防ぐ効果的なトレーニング、ねんりんピック参加者等51名参加）
- ・ 情報提供及び相談業務（相談員1名配置、相談件数72件）
- ・ 県内のシニアサークルの紹介

- ホームページに 600 サークル掲載、サークル一覧の発行（年 4 回、各 6,800 部）
- ・体験教室及び世代間交流会の開催（ラジボ-ル卓球等 6 種目、340 名参加）
 - ・高齢者サークル活動支援のための体験教室開催（14 回、全体 362 名うち体験 162 名）

③ エイジレス社会活動推進事業

エイジレス社会（生涯現役社会）を実現するため、県民意識転換のための普及啓発や高齢者の社会活動への参加を促進、また、地域社会の担い手として活躍するリーダーを養成

ア エイジレス社会づくりリーダー養成塾開催事業

- ・生活支援等の提供グループ設立に向けた実践講座（全 9 カリキュラム）の開催
平成 29 年 8 月 20 日（日）～12 月 16 日（土）、修了者 19 名

イ 先進的取組みの顕彰事業

- ・富山県エイジレス社会活動推進協議会により選定（8 名、5 団体）
- ・「富山県地域包括ケア推進県民フォーラム」で顕彰式実施（平成 29 年 12 月 2 日（土））

④ 高齢者地域づくり支援事業

元気な高齢者の地域づくり活動による地域の活性化を図るため、高齢者グループまたは地区社会福祉協議会と協働して行う地域づくり事業に対して助成

ア 対象地区 立山町

イ 内容 ボランティアグループ「脳トレ立山」と協働で、高齢者の脳機能の低下予防、生きがいつくりの推進（合計 11 回）、脳トレ研修会の実施（1 回）

【推進項目3】

災害時に対応できる地域づくりの推進

近年、頻繁に起きる災害に対して、地域福祉の観点からどのように住民を支援していくかが、大きな課題です。災害が起きて地域で支援する力が発揮できる安心した地域づくりが必要になります。

地域住民の主体性を大切にし、行政・社協・民間（多様な団体）・企業が連携を取りながら、日常的なつながりを持つ災害時にも強い地域づくりに努めました。

1 日常的なつながりを基盤とした要援護者への支援体制の充実

（1）災害時の要援護者支援・福祉救援の取り組みの充実

県民に幅広く、災害救援ボランティア活動の普及を図るため講演会及び登録ボランティアコーディネーター・リーダーの県防災訓練への参加を実施

① 災害救援ボランティア訓練事業

ア 災害救援ボランティア情報伝達訓練及び災害救援ボランティア実施訓練

平成 29 年 9 月 30 日（土） 8:00～12:00

富山市・立山町で開催された県防災訓練において、各市町災害救援ボランティア本部の立上訓練を行い、地域の住民・ボランティアの参加を得て、県社協登録ボランティアコーディネーター・リーダー等 45 名が参加

イ 災害救援ボランティア講演会&フォローアップ研修会

平成 29 年 9 月 9 日（土） サンシップとやま 参加者：53 名

シンポジウム

「大規模災害を振り返って～あの時失ったもの、そして得たもの～」

シンポジスト

阪神淡路大震災

被災地NGO協働センター スタッフ 鈴木 隆太 氏

能登半島地震

穴水町ボランティア連絡協議会会長、穴水町社協学習支援教室学習サポーター

「あした塾」代表（能登半島地震当時） 滝井 元之 氏

東日本大震災

社会福祉法人陸前高田市社会福祉協議会、生活支援部門主任 安田 留美 氏

コーディネーター

北日本新聞社 編集局次長・報道本部長 室 尚志 氏

（2）災害時のボランティア活動の展開支援

① 災害救援ボランティアコーディネーター・リーダー養成研修会の開催及び登録

第1回 平成 29 年 7 月 2 日（日） サンシップとやま 参加者：54 名

講義・ワーク「災害支援の全体像と被災者ニーズ」

講義・ワーク「災害ボランティアセンターの概要」

講師 NPO法人にいがた災害ボランティアネットワーク

理事長 李 仁鉄 氏

第2回 平成 29 年 7 月 29 日（土） サンシップとやま 参加者：47 名

講義・ワーク「災害ボランティアセンターの演習」

講義・ワーク「要援護者の課題・対策と日常の福祉活動」

講師 NPO法人にいがた災害ボランティアネットワーク

理事長 李 仁鉄 氏

第3回 平成29年8月31日(木) サンシップとやま 参加者：19名

ワーク「クロスロード」

講師 富山県社会福祉協議会

県防災訓練に参加 9月30日(土) 再掲

※平成30年3月末現在、203名の災害救援ボランティアコーディネーター・リーダーが登録

② 災害救援ボランティアコーディネーター・リーダーフォローアップ研修会

災害救援ボランティア講演会&フォローアップ研修会と統合し開催

2 災害時における福祉施設、専門職団体等との連携・協働支援体制の構築

(1) 専門職等関係機関・団体との連携・協働

① 市町村社協災害ネットワーク推進事業

災害時における県社協と県内社協の緊急連絡網及びメールによる緊急通報システムを整備

② 北陸三県社協合同災害研修開催事業

全国社会福祉協議会とタイアップし、「災害ボランティアセンター運営者研修会」と合同開催した。

平成29年10月3日(火)～4日(水) 福井県越前市

参加者：9名(本県) 全体で92名参加

基調報告 全社協 全国ボランティア・市民活動振興センター 園崎 秀治 氏

基調シンポジウム「何のため・誰のための災害ボランティアセンターか」

講義・ワーク、情報交換、振り返り

③ 災害福祉広域支援事業

富山県内における災害時の福祉広域支援ネットワークを構築するため、福祉施設団体・福祉職能団体・県行政等が具体的にどのように支援をするのか、講演会を開催した。

また、今後の推進の方向性について、県担当課との打ち合わせを行った。

・災害時における福祉・介護の広域的支援ネットワーク講演会

平成30年3月13日(火) サンシップとやま 参加者：66名

講演「災害時における支援について」

東北福祉大学 教授 都築 光一 氏

報告「熊本地震の支援にかかる介護職員派遣に参加して」

社会福祉法人 宣長康久会 ささづ苑 理事・事務長 小比賀 和子 氏

・県担当課との打ち合わせ

平成30年1月16日

【推進項目4】

地域ニーズへの対応力向上と効果的・効率的なサービス提供に向けた経営支援

社会福祉法の改正に伴い、社会福祉法人は地域福祉推進の重要な拠点として、福祉ニーズに対応する機能をより一層発揮することが求められています。

質の高い福祉サービスを効果的・効率的に提供できる体制等を整備するため、各法人が自主的に行っている法人経営上の取り組みに対し、必要な事項等について助言、指導を行いました。

1 社会福祉法人の地域における公益的な取組と法人間の連携・協働

(1) 社会福祉法人による地域連携の推進と公益的な取組みの支援

① 社会福祉法人地域公益活動推進事業

市町村社協が主体となって「福祉施設連絡会（地域協議会）」等の設置を図り、地域の福祉課題を共有する場の設定を行うとともに、市町村社協と社会福祉法人・施設それぞれが持つ専門性や資源を活用しながら解決方策について検討を進めていくことを目的に助成。5市町村社協で開催した福祉施設連絡会に参加並びに事業費の助成を行った。

（黒部市社協、砺波市社協、小矢部市社協、射水市社協、入善町社協）

2 福祉施設・事業所の経営マネジメント力向上への支援

(1) 社会福祉法人等の自立的経営と経営基盤の強化

① 福祉施設経営指導の推進

ア 社会福祉施設経営相談（相談件数 77件）

社会福祉施設経営相談室に専任及び兼任経営相談員の2名、専門経営指導員（公認会計士、社会保険労務士、弁護士）3名を配置し、施設経営に対する指導・助言を実施

専任相談員による県内28社会福祉法人・施設への訪問相談を実施

イ 「施設経営情報」の発行等による情報提供

ウ 福祉施設経営指導事業連絡協議会の開催

（構成者：県厚生部5課、富山市福祉保健部、県経営協役員、経営指導員等）

平成30年3月2日（金） サンシップとやま

協議事項・最近の福祉施策の動き

- ・平成29年度指導監査実施状況について
- ・平成29年度社会福祉施設経営指導事業の状況について
- ・意見交換

エ 富山県社会福祉法人経営者協議会との連携による会計、労務管理・リスクマネジメント、法律等の研修機会の提供及び集団指導の実施

・社会福祉法人特別セミナー

平成29年11月8日（水） サンシップとやま 参加者：32名

講義「魅力ある福祉職場となるために必要な労働条件とは

～社会保険労務士の立場から～

講師 梅原 修一 氏（専門経営指導員、社会保険労務士）

パネルディスカッション「法人における地域公益活動について

～それぞれの法人の立場から考える～

パネラー 社会福祉法人梨雲福祉会 特別養護老人ホーム梨雲苑
地域かがやきアドバイザー 深野 祐次 氏
NPO法人愛和報恩会 理事長 吉田 勇次郎 氏
社会福祉法人砺波市社会福祉協議会 主幹・福祉係長 上保 孝市 氏
コーディネーター 富山県福祉カレッジ 学長 大橋 謙策
総括講演 「我が事・丸ごと地域共生社会における地域公益活動への提案」
講師 富山県福祉カレッジ 学長 大橋 謙策

・社会福祉法人経理事務研修会

平成 29 年 11 月 28 日(火) サンシップとやま 参加者：116 名

講師 中村 厚 氏(専門経営指導員、公認会計士・税理士)

講義：新制度下での会計基準の概要、指導監査との関係、会計専門家による支援業務、
社会福祉充実計画、財務諸表等開示システム、決算上の留意事項、
会計・経理事務に関する Q & A

・社会福祉法人法律問題研修会

平成 30 年 2 月 9 日(金) サンシップとやま 参加者：60 名

講師 大坪 健 氏(専門経営指導員、弁護士)

講義：理事会・評議員会の開催、評議員・理事・監事等の損害賠償責任、
最近の介護事故等の例(判例より)、法律問題に関する Q & A、個別相談

(2) 富山県福祉施設支援資金の貸付及び償還管理

貸付審査会の開催(2回)

貸付件数：3件

貸付額：41,000千円(平成29年度末貸付実績31件、205,446千円)

3 福祉・介護機器の導入・活用支援

(1) ICT及び福祉・介護機器の活用支援

福祉施設・事業所が、質の高い福祉サービスを効果的・効率的に提供することを支援するため、ICTや介護ロボット等を含む福祉・介護機器の導入・活用に関する情報提供を行う。

① 県内福祉施設における福祉・介護機器の導入・活用状況に関する実態調査の実施

実施期間：平成29年5月25日～6月30日

調査対象：県内福祉施設180か所

(介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、障害者支援施設)

回答数：137(回答率76.1%)

② 先進的取り組み事例の紹介

第1回富山県福祉機器活用推進大会

平成29年11月18日(土) サンシップとやま 参加者：105名

講演「福祉機器・介護ロボットに関する最新情報」

講師 公益財団法人テクノエイド協会 企画部 参与 加藤 智幸 氏

事例報告「ICTと介護ロボットで創る新しい介護のありかた」

報告者 社会福祉法人シルヴァーウィング 理事長 石川 公也 氏

【推進項目5】

福祉人材の確保・定着、育成

福祉・介護ニーズに対応する福祉人材について、質・量の両面での確保・定着、さらには育成が重要となっています。福祉施設や専門職団体・養成施設などと連携・協働のうえ、福祉人材の育成に効果的な研修事業を実施したほか、キャリアパスの構築、福祉・介護機器の活用による福祉職場の活性化や働きがいのある福祉職場づくりなど、その魅力を広く発信するための取り組みなどを行いました。

1 福祉職場の魅力の発信と、新たな分野での福祉人材の掘り起し

(1) 福祉の人材確保・マッチング支援の強化と人材定着を支援する取り組みの推進

① 福祉人材無料職業紹介事業の充実

ア 全社協・中央福祉人材センターとともに運営・管理を行う「福祉人材情報システム」(COOLシステム)及びホームページ「福祉のお仕事」を活用した求人・求職登録の促進と福祉の職場・資格、労働市場の動向等に関する情報の提供(保育分野を含む)

- ・相談件数 2,695 件(前年度 3,485 件)、内訳:求人 1,276 件、求職 1,419 件
- ・登録求人件数 2,428 件(前年度 2,652 件)、登録求人数 5,175 人(前年度 5,358 人)
- ・登録求職者数 923 人(前年度 1,143 人)、内訳:一般 483 人、学生 440 人
- ・届出者数 90 人
- ・職場見学者数 122 人(前年度 240 人)、職場体験者数 8 人(前年度 26 人)
- ・紹介者数 213 人(前年度 240 人)
- ・採用者数 201 人(前年度 198 人)、内訳:一般 84 人、学生 117 人

イ 職業訓練受講者へ求職登録の働きかけ

- ・82 名、内訳:初任者研修 5 回 43 名、実務者研修 1 回 39 名

ウ 既存の広報媒体を利用した啓発・案内

- ・福祉とやまによる事業内容や行事等の記事の掲載(6 回)
- ・県社協及び「福祉のお仕事」ホームページによる事業所一覧、行事等の情報を掲載
- ・COOL システム 求職者・届出者マイページによる行事等の案内をメール配信

エ 離職介護人材届出制度の活用推進

離職した介護人材の当センターへの届出を広く周知し、再就職準備金の活用等を通じて就職を支援

ポスター、リーフレットの配布、福祉とやまへの掲載

② 啓発・広報活動の強化

利用促進用リーフレットの作成 5,000 部、求職者・学生、ハローワーク等で配付

③ 福祉人材確保緊急プロジェクトの推進

ア 福祉職場説明会の開催(5 回)

求人事業所と求職者が一堂に会し、様々な施設の経営状況・仕事内容・待遇等を直接確認できる機会の提供

- ・平成 29 年度福祉人材採用力向上セミナー

平成 29 年 6 月 2 日(金) サンシップとやま 78 名

「福祉人材の確保・定着のための採用術

～法人・事業所の『らしさ(魅力)』、伝わっていますか?」

講師 らしさ研究所代表 門野 友彦 氏

・ 第1回 福祉のお仕事フェア in TOYAMA【福祉・介護】

平成29年7月9日(日) 富山国際会議場 参加者:169名 参加法人:57(57ブース)

我が事業所紹介 同会場 参加者:114名 紹介事業所:7

事業所の魅力や独自の取り組みなどを紹介

・ 第2回 福祉のお仕事フェア in TOYAMA【福祉・介護】

平成29年7月16日(日) 富山国際会議場 参加者:136名 参加法人:59(56ブース)

我が事業所紹介 同会場 参加者:84名 紹介事業所:7

事業所の魅力や独自の取り組みなどを紹介

・ 第3回 平成29年11月13日(月) 新川文化ホール 16名、参加法人6

・ 第4回 平成29年11月22日(水) 砺波農村環境改善センター 8名、参加法人12

・ 第5回 平成30年2月23日(金) 砺波農村環境改善センター 30名、参加法人4

※第3～5回はハローワーク砺波、魚津との合同開催

イ 富山の介護職員募集案内冊子作成・配布事業

県内介護施設等の求人情報を掲載した冊子を作成・配布

掲載募集対象:介護職員処遇改善加算届出法人513

掲載法人:58、作成部数:600部

ウ 新任介護職員ネットワーク形成支援事業

離職率が高い就業後1～3年未満の新任介護職員を継続的にフォローすることにより、
新任職員の早期離職防止・職場定着を図った。

i) 元気とやま 福祉・介護職員合同入職式2017

平成29年4月25日(火) サンシップとやま

出席者 125名(内訳:入職者96名、県福祉人材確保対策会議委員13名、
前年度の介護のがんばりすと19名)

内容 激励のことば(県知事)、歓迎メッセージ、“初心”表明、
講演「富山で出来る“きときとキラキラの介護実践!”」

講師 県介護福祉士会 副会長 舟田 伸司 氏

交流会～自分を元気にするコツ～人を元気にするために 指導 経田 博子 氏

ii) 介護職員フォローアップ研修

・介護技術編(腰痛予防)5～9月、4会場、各1回、参加者合計100名

講師 県介護福祉士会 副会長 舟田 伸司 氏

・セルフケア編(メンタルヘルス)8月、4会場、各1回、参加者合計65名

講師 臨床心理士 坂本 美奈子 氏

エ 福祉・介護人材マッチング強化事業

キャリア支援専門員による相談体制と仲介業務の強化

・ 同専門員を2名配置(介護福祉士・介護支援専門員)

・ 「福祉の仕事 相談コーナー」の開設(月1～2回)

ハローワーク6か所合計108回、相談合計140件(前年度末169件)

(高岡43、魚津29、砺波26、氷見11、滑川21、小矢部10)

・ 「介護の仕事 就職支援セミナー」の実施(ハローワークと共催)

ハローワーク5か所合計49回、参加者合計302人(前年度末2か所193人)

(高岡7回14、魚津12回101、砺波12回103人、氷見8回16、滑川10回68)

- ・ はじめての福祉の仕事サロン（福祉就労オリエンテーション）の実施
福祉職場の未経験者を対象に、少人数制のグループワーキングの実施
4月～3月の第4木曜日、10回、サンシップとやま、参加者合計39名
講師 小規模多機能型在宅介護、認知症対応型共同生活介護
愛寿乃里（小矢部市） 施設長 岩田 美保子 氏
- ・ 求人・求職者情報の提供
登録求職者向けに求人情報紙を毎月送付（4月～3月 12回 合計1,132部発行）
Eメール、ホームページを利用した事業所向けのスカウトサービス（保育以外）
5月～3月 指名求人票件数60件、指名のべ人数84人、見学2人
- ・ 事業所訪問10か所（認知症対応型生活介護 他）

④ 調査研究事業

- ア 県内民間社会福祉事業所の人材不足の現状等を把握し、人材需給に対処する基礎資料とするアンケート調査の実施
10月、1,618事業所対象、回答1,101か所、回答率68.0%
内容：職員数、保有資格数、入植者数、離職者数、離職理由、必要人数、必要理由、職場環境、キャリアアップ、人材確保の問題点と要望など、報告書800部作成
※ 集計・分析結果をふまえ、県福祉人材確保対策会議、同ワーキンググループに報告
- イ 富山県出身学生在学者調査を実施し、回答のあった大学等の学生に求人情報を提供
調査対象：東海・北陸・新潟県ほか合計180校、在学者252人、登録者44人
- ウ 富山県内学生調査
調査対象：県内養成8校、登録者319人

⑤ 保育士・保育所支援センター設置・運営事業

- 共働き世帯の増加や育児休暇の定着により、人手のかかる0～2歳児の途中入所が増え、保育所の求人ニーズが高まっているため、有資格者の未就業者の職場復帰、現役保育士の職場の定着を支援するためのセンターを開設し、相談や就職あっせん等の実施
共働き世帯の増加や育児休暇の定着により、人手のかかる0～2歳児の途中入所が増え、保育所の求人ニーズが高まっているため、有資格者の未就業者の職場復帰、現役保育士の職場の定着を支援するためのセンターを開設し、相談や就職あっせん等の実施
- ア センターの運営と啓発
- あ 専門相談員の配置
・ 再就職支援コーディネーター1名（保育士）
- い 啓発
・ 業務案内リーフレットの作成 4,700部（保育所、ハローワーク等に送付）
・ ポスターの作成700部（子育て支援センター、小児科医院、大規模店舗、コンビニエンスストア等に送付）
- イ 相談業務と就職あっせん
・ 求職相談件数807件
内訳：現役188、潜在474、学生37、栄養士・調理士11、看護師4、無資格者等93
・ 求人相談件数986件
内訳：求人252、採用活動262、応募者100、雇用条件327、職場説明会8、

スカウト 3、制度 16、職員育成等 15

- ・事業所登録数 100 か所、内訳：市町村 12、民間 88
- ・登録求人数 590 件、登録求人数 1,400 人
- ・登録求職者数 285 人、内訳：現役 15、潜在 54、学生 201、無資格者 11、栄養士 2、調理師 2
- ・届出者数 6 人
- ・スカウトサービス：申請 8 件、対象者数 8 人
- ・職場見学者数 62 人、職場体験者数 0 人
- ・採用者数 114 人、内訳：現役 9、潜在 39、学生 58、無資格者 7、調理師 1

ウ 再就職支援研修会

保育所(園)等における雇用管理と人材育成・定着セミナー

平成 29 年 11 月 20 日(月)・21 日(火) 富山県市町村会館 理事長・園長 54 名

講師 ワールドワイド 代表取締役 池田 東史雄 氏

エ 職場説明会

福祉のお仕事フェア in TOYAMA【児童・保育】

平成 29 年 7 月 30 日(日)富山国際会議場 参加者：128 名 参加法人：39 (36 ブース)

我が事業所紹介 同会場 参加者：90 名 紹介事業所：7

事業所の魅力や独自の取り組みなどを紹介 6 か所

保育の出前 1 か所

⑥ 働きやすい職場づくりのための取り組みの推進

ア 独立行政法人福祉医療機構退職手当共済事業の事務受託

イ 社会福祉法人福利厚生センター(通称：ソウェルクラブ)受託事業の実施

会員交流事業の実施(20 企画)、企画情報会議の開催(2 回)、加入勧奨活動、その他会員情報サービスの提供

(2) 就労支援ネットワークづくり

① 人材確保相談事業

他機関の実施する職場説明会において、福祉職場・資格取得等に関する相談に応じたほか、養成施設・事業所等への訪問・相談等の実施

説明会：5 回(富山市) 相談件数：9 件

就職支援セミナー(ハローワーク富山)2 回

訪問 15 か所、内訳：事業所 5、職業訓練 10

② 福祉人材確保緊急プロジェクトによる取り組み

福祉人材確保対策会議の開催

福祉・労働関係の機関・団体と連携して現状の分析を行うとともに、より効果的な方策を協議

ア 会議(2 回)

・第 1 回 平成 29 年 7 月 11 日(火)、高志会館、参加委員：19 名

協議「福祉人材確保の取り組み等について」

「民間福祉・介護事業所の人材確保に関する調査について」

・第 2 回 平成 30 年 2 月 20 日(火)、高志会館、参加委員：20 名

協議「福祉人材確保の取り組み等について」

「民間福祉・介護事業所の人材確保に関する調査の中間報告について」

「構成団体における取り組み等について」

イ ワーキンググループ（2回）

- ・第1回 平成29年7月5日（水）、富山県民会館、参加委員：26名

協議「福祉人材確保の取り組み等について」

「民間福祉・介護事業所の人材確保に関する調査について」

「構成団体・市町村の今年度の取り組みについて」

- ・第2回 平成30年2月6日（月）、高志会館、参加委員：16名

協議「福祉人材確保の取り組み等について」

「民間福祉・介護事業所の人材確保に関する調査の中間報告について」

「構成団体・市町村における取り組み等について」

③ 介護福祉士等修学資金貸付事業

介護福祉士等養成施設に在学する学生を修学資金の貸付けにより支援し、また、介護業務に再就職する人を離職介護人材再就職準備金の貸付けにより支援

ア 介護福祉士または社会福祉士養成施設など入学者（従来枠）及び介護福祉士実務者養成施設の在学者（実務者研修枠）

- i) 募集 養成施設に募集要項の送付

- ii) 審査会 平成29年6月28日（水）、サンシップとやま、参加委員：4名
高校3年生の内定制度書面審査（平成30年度入学生） 11月

- iii) 貸付実績

（従来枠）

修学費 50,000円以内/月、入学準備金 200,000円、

就職準備金 200,000円、生活費加算（個別金額）、

介護福祉士国家試験受験対策費 40,000円/年

（実務者研修枠）200,000円以内

新規申請、決定、貸付：従来枠31名、実務者研修枠5名

継続貸付：従来枠24名

合計貸付人数：従来枠55名、実務者研修枠5名

貸付人数累計（平成21年度～平成29年度）：従来枠222名、実務者研修枠13名

- iv) 高校3年生の内定制度（平成30年度入学生）

修学費 50,000円以内/月、入学準備金 200,000円、

就職準備金 200,000円、生活費加算（個別金額）、

介護福祉士国家試験受験対策費 40,000円/年

申請：14名

内定：13名

イ 介護業務に再就職する者

- i) 募集 求職登録者、介護事業所に案内チラシ等を送付

- ii) 貸付実績

金額：400,000円以内

申請、決定、貸付：12名

④ 保育補助者雇上貸付・潜在保育士再就職支援事業

保育補助者雇上事業、未就学児を持つ潜在保育士に対する保育所復帰支援事業、潜在保育士の再就職支援事業

- i) 募集 求職登録者、介護事業所に案内チラシ等を送付
- ii) 貸付実績
 - ・保育補助者雇上費貸与
金額：年額 2,953,000 円以内
新規申請・決定、貸付：3 件
継続貸付：1 件
合計貸付件数：4 件
 - ・未就学児を持つ保育士に対する保育料の一部貸与
金額：保育料の半額（月額 27,000 円以内）
新規申請、決定、貸付：6 名
継続貸付：1 名
合計貸付人数：7 名
 - ・潜在保育士就職準備金貸与
金額：200,000 円以内
申請、決定、貸付：9 名

⑤ 児童養護施設退所者等貸付事業

就職者等への家賃貸付、進学者への家賃・生活費貸付、資格取得希望者への資格取得貸付

- i) 募集 児童養護施設等に案内チラシ等を送付
- ii) 貸付実績
 - ・生活支援費貸与
金額：月額 50,000 円
新規申請、決定、貸付：1 名
 - ・家賃支援費貸与
金額：生活保護上の住宅扶助月額
(例 平成 29 年度 富山市 1 人 33,000 円)
新規申請、決定、貸付：1 名
 - ・資格取得支援費貸与
金額：250,000 円（1 回限り）
申請、決定、貸付：3 名

(3) 福祉・介護職場のイメージアップ

① 福祉人材確保緊急プロジェクトによる取組み

ア 高校生等の福祉の魅力体験バスツアー

高校生、進路指導担当教員に対し、職場体験を通じて福祉職場の魅力ややりがいを理解し、進路の選択に生かしていく機会を提供

内容 施設見学、仕事体験、職員の話、利用者との交流等

- ・富山①会場 平成 29 年 7 月 26 日（水）、富山市周辺の特養 3 か所 26 名
- ・高岡会場 平成 29 年 8 月 9 日（水）、高岡市周辺の特養 6 か所 40 名
- ・富山②会場 平成 29 年 8 月 10 日（木）、富山市周辺の特養 3 か所 19 名

- ・新川会場 平成 29 年 8 月 24 日（木）、魚津市内・黒部市内周辺の特養 3 か所 12 名
 - ・合計 97 名
 - ・参加者進路調査 3 年生 33 名中 27 名（82%）福祉分野進学者 23 名、福祉分野就職者 4 名
- イ 親子夏休み福祉の仕事バスツアー
- 小学生とその保護者を対象に、福祉施設での仕事の体験を通じて、施設や利用者を身近な存在としてとらえ、働く人や仕事について理解を深める機会を提供
- ・東部会場 平成 29 年 8 月 2 日（水）、特養 1 か所・老健 1 か所 28 名
 - ・西部会場 平成 29 年 8 月 4 日（金）、特養 1 か所 26 名 ・合計 54 名
- 内容 施設見学、福祉用具、利用者の誘導、体操、おやつ作り、働く人の話等
- ウ がんばる介護職員応援事業
- i) がんばる介護職員の表彰（通称：介護のがんばりすと 2017）
- 福祉・介護の現場で元気にがんばっている職員を掘り起こして、表彰・紹介することにより、職員のモチベーションの向上と、介護の仕事に対するマイナスイメージの払拭、社会的評価の向上を推進
- ・対象 勤続 5 年以上 10 年未満、新人の指導役、介護福祉士、所定の研修修了者
 - ・推薦 28 事業所から 28 名あり（628 法人、1,426 か所へ依頼）
 - ・選考委員会 平成 29 年 9 月 6 日（水） サンシップとやま 参加委員：5 名
 - ・表彰式 平成 29 年 11 月 11 日（土） グランドプラザ 「介護の日フェスティバル」内にて
 - ・交流研修会 平成 29 年 11 月 11 日（土） ファーストバンク・キラリホール 26 名
- 交流テーマ「アサーショントレーニング」
- 指導 臨床心理士 坂本 美奈子 氏
- ii) 経験談を新聞紙面に掲載
- 期日 平成 29 年 11 月 10 日（金）、北日本 2 頁、読売・富山全 5 段
- 内容 介護のがんばりすと 2017 の手記、介護の日のイベント案内
- iii) 啓発用小冊子の作成・配布
- 新聞紙面を再構成した小冊子を県内の全高校 1 年生 10,444 名に配付
- 作成部数：16,000 部
- iv) イメージアップ・テレビCMの制作
- ホームヘルパーの日編(8/10) 平成 29 年 8 月、5 日間、民放 3 局、15 秒、165 本
- 介護フェス編(11/11) 平成 29 年 11 月、5 日間、民放 3 局、15 秒、165 本
- 放映終了後もウェブサイトで期間限定で公開を継続
- v) 学生や若手職員へのPR活動支援（介護のがんばりすと 2016・2017）
- テレビCM出演、高校生との交流、他分野からの転職者への助言、合同入職式でのメッセージ、同交流会での相談応対 等
- エ 介護の日の啓発活動
- 介護を身近なものとしてとらえ、それぞれの立場で考えていくため、関係機関・団体等が連携して開催するイベント「介護の日フェスティバル」の実施に協力
- ・実行委員会への参加 7 回（構成：事業所団体、職能団体、養成校、行政など）
 - ・イベントへの参加 平成 29 年 11 月 11 日（土） グランドプラザ
- 「福祉のお仕事」相談コーナー開設 相談 6 件

② 福祉・介護職場の魅力発信事業

マスメディア等を活用して福祉・介護職場の魅力を広く発信するため、取材施設の選定を

行った。

きときとねんりんクイズ（北日本放送ラジオ） 年間 24 回放送(月 2 回)

会場：デイサービスセンター、ケアハウス 等

内容：職員インタビュー、利用者によるクイズ解答

進行役 漫オコンビ雷鳥

(4) 委員会等の開催

運営委員会 (1 回)

平成 30 年 1 月 31 日(水) サンシップとやま

2 研修実施や資格取得の促進を通じたキャリアパスの構築

(1) 委員会等の開催

- ① 福祉カレッジ運営委員会 (1 回)
- ② 研修カリキュラム検討分科会 (1 回)
- ③ 介護機器普及事業運営分科会 (1 回)

(2) 福祉カレッジ研修事業の実施

福祉人材の養成及び資質の向上を図るための研修を実施

(50 コース、受講者実人員 8,911 名)

① ソーシャルワーク研修

専門多職種連携とソーシャルワーク実践研修（客員教授による講義実施）、地域巡回研修（客員教授による講義実施）、相談援助技術研修、子育て支援研修

② ケアワーク研修

福祉用具体験講座Ⅱ(専門職・学生)、らくらく介護講座、介護技術向上研修、腰痛予防推進研修（腰痛予防研修・フォローアップ研修・リフトリーダー養成研修）、腰痛予防指導者育成研修（基礎研修・フォローアップ研修）、腰痛予防対策取組み事例報告会、腰痛予防対策介護研修、富山型デイサービス職員研修会、施設訪問中堅リーダー研修、介護職員リスクマネジメント研修、認知症ケア研修（初級編・応用編）、観察の視点を活かした介護記録研修、介護職員のためのターミナルケア研修

③ 福祉職員キャリア支援研修

階層別（新任職員、中堅職員、チームリーダー、管理職員）に「福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程」などを実施し、段階的・体系的に福祉職員のキャリアパスに応じた資質向上を図る。

また、福祉職能団体などの協力を得て、県内講師の養成・確保に取り組む。

④ 法人施設経営研修

社会福祉法人特別セミナー、中堅保育職員研修

⑤ 目的課題別研修

福祉用具体験講座Ⅰ（一般県民）、小中高生の介護講座、福祉用具・住宅改修研修、福祉用具

プランナー研修、乳幼児（0, 1, 2 歳児）保育研修、障害児保育研修、ハートフル保育普及研修会（初任者研修）、職場研修担当者研修、職場研修ステップアップ研修、福祉職員コミュニケーション研修（新任職員編、中堅・指導的職員編）、新任職員接遇研修、福祉職員アクティブ・ワーキング研修（一般職員編、指導者編）、ホームヘルパー技術向上研修、障害者（児）ホームヘルパー等養成研修、強度行動障害支援者養成研修（基礎研修、実践研修）、サービス提供責任者研修、福祉サービス第三者評価調査者継続研修、富山型デイサービス起業家育成講座、介護支援専門員更新・再研修、介護支援専門員実務研修、

（3）介護支援専門員実務研修受講試験事業

① 試験実施機関の指定

平成 28 年 2 月 5 日（期間：平成 28 年度～30 年度）

県から試験実施機関の指定を受け、同試験の申請受付及び試験事務を実施

② 実施結果

試験実施日：平成 29 年 10 月 8 日（日）

試験会場：サンシップとやま、富山県民会館、富山中部高等学校

受験者数及び合格者数：受験者数 1,087 名、合格者数 232 名（合格率 21.3%）

3 福祉・介護機器活用による職場の活性化とスキルアップ

（1）効果的な福祉・介護機器の活用支援

① 福祉・介護機器の展示・相談、貸出、情報提供

ア 展示場・モデルルームでの展示及び相談体制の整備

展示品：795 点、来所者数：948 名、相談者数：452 名、相談件数：583 件

イ 適合評価を目的とした専門職への貸出事業の実施

貸出件数：77 件

ウ ホームページ及び広報誌への掲載による情報提供

② 福祉・介護機器の理解・活用促進に繋がる研修及びイベントの開催

ア 福祉用具活用講座Ⅰ（一般県民対象）参加者：176 名（12 回）

イ 福祉用具活用講座Ⅱ（福祉関係者対象）参加者：725 名（36 回）

ウ 小・中・高生の介護講座 参加者：1,526 名（36 回）

エ らくらく介護講座（福祉関係者対象）参加者：289 名（7 回）

オ 介護技術向上研修（排泄編・排泄技術編）参加者：68 名

カ 第 11 回福祉用具の展示会の開催

平成 29 年 10 月 28 日（土） サンシップとやま

出展メーカー：35 社 来場者：322 名

キ 福祉用具・アイデアコンクールの開催 応募作品数：167 点 受賞作品数：24 点

ク 第 1 回富山県福祉機器活用推進大会の開催

平成 29 年 11 月 18 日（土） サンシップとやま 参加者：105 名

③ 住宅改修に関する相談事業の実施

福祉用具・住宅改修活用広域支援事業

ア 福祉用具・住宅改修支援連絡協議会の開催

平成 30 年 1 月 12 日（金） サンシップとやま 出席者：10 名

イ 専門相談員の登録（相談員の発掘と資質向上）

登録相談員：9 名

ウ 福祉用具・住宅改修の相談・充実

所内相談・出張相談総数：88 件（延べ 104 件）

エ 福祉用具・住宅改修に関わる関係者の資質の向上（研修等の実施）

・福祉用具・住宅改修研修（基礎研修）

福祉用具・住宅改修に関する基礎知識の習得を目的として実施

<第 1 回>平成 29 年 5 月 11 日（木）、18 日（木）、24 日（水）

サンシップとやま 受講者：28 名

<第 2 回>平成 29 年 6 月 14 日（水）、21 日（水）、28 日（水）

サンシップとやま 受講者：33 名

・福祉用具・住宅改修研修（福祉用具研修）

利用者に適した福祉用具の選定や活用方法の習得を目的として実施

平成 29 年 7 月 14 日（金）、7 月 21 日（金）、8 月 4 日（金） サンシップとやま

受講者：35 名（延べ 128 名）

・住宅改修事業者研修（基礎編）

住宅改修事業者を対象に福祉用具や住宅改修に関する知識の習得を目的として実施

<第 1 回>平成 29 年 8 月 23 日（水）サンシップとやま 受講者：33 名

<第 2 回>平成 29 年 9 月 7 日（木）サンシップとやま 受講者：32 名

・住宅改修事業者研修（応用編）

住宅改修事業者を対象に、事例による住宅改修プランニングの演習を行う

平成 29 年 9 月 14 日（木）サンシップとやま 受講者：36 名

オ 福祉用具・住宅改修活用広域支援事業の広報（関係機関及び関係者）

・福祉用具・住宅改修出張相談事例集の作成・配布

・パンフレットの作成・配布

・関係機関に対する相談ニーズ調査の実施

（2）福祉・介護機器を活用した介護技術研修の実施と指導者の育成支援

① 介護技術向上のための研修の実施

利用者の特性や能力に適した福祉・介護機器の選定を支援し、利用者・介助者双方にとって安全で安楽な介護の知識と技術の普及・定着を推進する。

ア らくらく介護講座の実施

イ 介護技術向上研修の実施

ウ 福祉用具・住宅改修研修の実施

エ 福祉用具プランナー研修の実施

② 腰痛予防対策推進研修の実施

ア 腰痛予防研修会

介護職員の腰痛予防のために必要な知識・技術を習得し、職場での腰痛予防対策を推進するための研修を実施

- ・第1回 平成29年6月9日(金)、10日(土) サンシップとやま 参加者:35名
- ・第2回 平成29年6月30日(金)、7月1日(土) サンシップとやま 参加者:39名

イ 腰痛予防フォローアップ研修会

腰痛予防研修修了者のスキルアップを図るための研修を実施

平成29年6月30日(金) サンシップとやま 参加者:22名

ウ リフトリーダー養成研修会

介護職員の腰痛予防と利用者の安全な移乗のために、リフトを使用した介助方法を指導できる人材を養成するための研修を実施

- ・第1回 平成29年9月20日(水)、21日(木) サンシップとやま 参加者:27名
- ・第2回 平成29年9月20日(水)、22日(金) サンシップとやま 参加者:28名

エ 腰痛予防指導者育成研修会

福祉施設において、介護職員の腰痛予防対策が推進できるように、指導者を育成するための研修を実施

- ・基礎研修:施設利用者個々に対応できる介助技術と職員への指導方法の習得

<Aコース>平成29年7月3日(月)、24日(月)8月7日(月)、29日(火)

サンシップとやま 受講者:18名

<Bコース>平成29年7月10日(月)、27日(木)、8月10日(木)、24日(木)

サンシップとやま 受講者:20名

- ・フォローアップ研修:基礎研修修了者の施設に出向き、受講者の指導力を高める

特別養護老人ホームつまま園:平成29年9月15日(金)、10月4日(水)、11月10日(金)

介護老人保健施設城端うらら:平成29年9月8日(金)、10月4日(水)、11月1日(水)

介護老人保健施設みどり苑:平成29年9月5日(火)、10月3日(火)、11月14日(火)

特別養護老人ホーム越野荘:平成29年9月12日(火)、10月3日(火)、11月20日(月)

受講者:38名 参加者:延べ112名

オ 腰痛予防取組み事例報告会

腰痛予防の取組みに関して、事例報告会や意見交換会を開催することで、他施設への腰痛予防対策の普及・定着を図るために実施

平成29年10月28日(土) サンシップとやま 参加者:80名

- ・シンポジウム

セッションⅠ「福祉用具を活用した腰痛予防対策」

セッションⅡ「施設内の腰痛予防教育の実際」

コーディネーター	金城大学医療健康学部 教授	木林 勉 氏
事例報告者	特別養護老人ホームきらら	河原 拓也 氏
	特別養護老人ホームささづ苑	佐藤 佳子 氏
	特別養護老人ホームソレイユ	新井 登志子 氏
	特別養護老人ホーム越野荘	松下 愛 氏
	特別養護老人ホームほのぼの苑	堂尻 貴裕 氏
	特別養護老人ホームあんの里	笹原 英希 氏
	特別養護老人ホームだいが苑	田野 浩之 氏
	特別養護老人ホーム福寿園	菅原 小由美 氏

③ 腰痛予防対策推進施設の指定・支援

指定施設 : (新規) 介護老人保健施設城端うらら (南砺市)
介護老人保健施設みどり苑 (富山市)
(継続) 特別養護老人ホームあんどの里 (魚津市)
特別養護老人ホームだいが苑 (高岡市)
特別養護老人ホーム越野荘 (黒部市)
特別養護老人ホームほのぼの苑 (氷見市)
特別養護老人ホームソレイユ (富山市)
特別養護老人ホーム福寿園 (南砺市)
特別養護老人ホームきらら (南砺市)
特別養護老人ホームささづ苑 (富山市)

腰痛予防対策介護研修

特別養護老人ホームきらら : 参加者 3 名 (2 施設)
特別養護老人ホームささづ苑 : 参加者 5 名 (4 施設)
特別養護老人ホームソレイユ : 参加者 3 名 (1 施設)
特別養護老人ホーム福寿園 : 参加者 6 名 (2 施設)
特別養護老人ホーム越野荘 : 参加者 3 名 (1 施設)
特別養護老人ホームほのぼの苑 : 参加者 3 名 (1 施設)
特別養護老人ホームあんどの里 : 参加者 6 名 (4 施設)
特別養護老人ホームだいが苑 : 参加者 7 名 (5 施設)

【推進項目6】

利用者本位による福祉サービスの選択と福祉サービスの質の向上

家族形態・地域社会の変容に伴い福祉ニーズが多様化・複雑化する中、福祉サービス事業者には、「利用者本位」を基本とした質の高い福祉サービスの提供が求められています。

そのため、利用者の権利擁護を重視しながら、利用者・家族への適切な対応や地域の社会資源を活かしたサービス提供等がなされるよう、事業者における自己評価・外部評価の実施や広く住民等への情報公表を行いました。

1 福祉サービスの見える化と質の向上

(1) 福祉サービス第三者評価事業の実施

① 地域密着型サービスにかかる外部評価の実施

認知症対応型共同生活介護事業所 23 件

② 福祉サービスにかかる第三者評価の実施

社会的養護施設 2 件

児童福祉施設（保育所） 4 件

③ 福祉サービス評価・公表事業運営委員会の開催

第1回 平成29年4月17日（月） 富山県教育文化会館

第2回 平成29年6月26日（月） 富山県教育文化会館

第3回 平成29年8月4日（金） サンシップとやま

第4回 平成29年9月22日（金） サンシップとやま

第5回 平成29年10月30日（月） 富山県教育文化会館

第6回 平成29年12月11日（月） 富山県教育文化会館

第7回 平成30年1月22日（月） 富山県教育文化会館

第8回 平成30年2月23日（金） サンシップとやま

第9回 平成30年3月26日（月） 富山県教育文化会館

④ 評価調査者の登録

登録者 31 名（平成30年3月末日現在）

(2) 利用者の福祉サービスの選択

介護サービス情報の公表事業の実施

・指定情報公表センターの運営

「平成29年度情報公表計画」に基づく報告・調査・公表事務

報告受理事業所 1,763 件（平成29年10月～平成30年3月）

調査事業所 198 件（平成29年11月～平成30年3月）

公表事業所 1,763 件（平成29年10月～平成30年3月）

・新規事業所説明会の開催 2回

第1回 平成29年9月8日（金） サンシップとやま

第2回 平成30年1月30日（火） サンシップとやま

・公表事業運営委員会の開催

第1回 平成29年12月11日（月） 富山県教育文化会館

第2回 平成30年3月26日(月) 富山県教育文化会館

- ・指定調査機関の運営
調査対象事業所への訪問調査実施 58件
- ・調査員の登録
登録者39名(平成30年3月末日現在)

(3) 福祉サービスに関する苦情解決のための取り組み強化

① 福祉サービス運営適正化委員会の開催

平成29年6月15日(木) サンシップとやま

② 福祉サービスに関する苦情解決事業の推進

ア 苦情解決部会の開催(年6回)

- 第1回 平成29年4月27日(木) サンシップとやま
- 第2回 平成29年6月15日(木) サンシップとやま
- 第3回 平成29年8月17日(木) サンシップとやま
- 第4回 平成29年11月16日(木) サンシップとやま
- 第5回 平成30年1月25日(木) サンシップとやま
- 第6回 平成30年3月22日(木) サンシップとやま

イ 苦情解決に必要な助言、相談、調査

苦情・相談受付件数:35件

ウ 広報・啓発、調査研究の実施

- ・ 県社協ホームページ、県社協広報誌「福祉とやま」への掲載、ポスター、リーフレット3,000部、福祉事業所等における苦情解決の手引き配布による広報啓発
- ・ 苦情解決体制整備状況アンケートの実施
対象:767法人、回答数:521法人、回答率:67.9%
内容:苦情解決責任者・苦情受付担当者・第三者委員の設置状況等
- ・ 苦情解決体制整備について巡回訪問指導の実施
対象:福祉サービス事業新規参入法人28法人

エ 苦情解決責任者・苦情受付担当者・第三者委員の研修会開催

- ・ 福祉サービス苦情解決研修会の開催

平成29年10月12日(木) 富山県高岡文化ホール 参加者:174名

平成29年10月13日(金) ボルフアートとやま 参加者:144名

講義「福祉サービスにおける苦情とは何か」

講師 東洋大学社会学部社会福祉学科教授 高山 直樹 氏

事例発表「ひとつの苦情から過剰な要求へエスカレートした家族」(高岡)

発表者 社会福祉法人戸出福祉会

特別養護老人ホームだいご苑 事務長 手塚 裕子 氏

事例発表「施設ができる限りの対応、ケアを行っても理解してもらえない家族」(富山)

発表者 社会福祉法人中新川福祉会

特別養護老人ホームふなはし荘 事業長 松井 照子 氏

③ 日常生活自立支援事業の運営監視

ア 運営監視部会による現地調査の実施

平成 29 年 9 月 1 日～9 月 8 日 対象：4 市社協（魚津・氷見・南砺・滑川）

イ 運営監視部会の開催

平成 29 年 12 月 5 日（火） サンシップとやま

協議事項：実施状況、現地調査結果、現地調査報告

【推進項目 7】

地域福祉推進のための組織基盤の強化

富山県社協は地域福祉推進を目的とする公益かつ広域的な組織として、社会福祉関係者や住民等と連携を図りながら、県内の様々な福祉・生活課題に対応してまいります。

多種多様な事業を効果的に展開していくために、適正な業務執行体制の確立を図るとともに、人材育成や民間財源の適切な活用、自主財源の確保、調査研究や情報発信機能の強化など、組織基盤の強化を図りました。

1 経営・財政基盤の強化

(1) 第4次県社協活動推進計画の推進

昨年度から検討を重ねてきた第4次活動推進計画を取りまとめるとともに、市町村、行政、関係機関・団体、県社協会員等へ広く周知し、連携・協同による計画推進への支援・協力を求めた。

(2) 適正な業務執行体制の確立

① 役員会等の開催状況

会議名	開催日	主な審議事項	
正副会長会議	第1回	29.9.21	副会長による補佐のあり方等
	第2回	30.3.15	第8回理事会、第4回評議員会の開催について
理事会	第1回	29.4.25(書面)	理事候補者の選定、評議員候補者の推薦ほか
	第2回	29.6.1	第三者委員の選任、28年度事業報告・決算、役員等報酬及び費用弁償に関する規程の制定、次期役員(理事・監事)候補者の選定、事務局規程の一部改正、定時評議員会の招集ほか
	第3回	29.6.16(書面)	次期理事候補者案の変更について
	第4回	29.6.22	会長、副会長、専務理事の選定、経理規程の一部改正、個人情報保護規程の全部改正、評議員候補者の選定について
	第5回	29.10.12	富山県総合福祉会館の指定管理申請、職務権限及び処務規程の制定、理事候補者の選定ほか
	第6回	29.11.16	会長及び専務理事の職務執行状況報告
	第7回	30.2.21(書面)	第4回評議員会の招集について
	第8回	30.3.22	補正予算、30年度事業計画・予算、一時借入金案、資金運用方針案、期間契約職員就業規則の一部改正、いきいき友の会会員・会費規程の一部改正、会長及び専務理事の職務執行状況報告ほか
評議員会	第1回	29.5.23(書面)	理事の補欠選任
	第2回	29.6.22	28年度事業報告・決算、役員等報酬及び費用弁償に関する規程の制定、任期満了に伴う次期役員(理事・監事)の選任について
	第3回	29.10.27(書面)	理事の補欠選任
	第4回	書面	補正予算、30年度事業計画・予算

会議名	開催日	主な審議事項
監事会	29. 5. 18	平成 28 年度業務執行状況及び財産状況の監査
評議員選任・ 解任委員会	第 1 回	29. 5. 10 (書面)
	第 2 回	29. 7. 31 (書面)
		評議員の補欠選任 〃

(3) 社協活動の推進に向けた市町村社協との協議

① 市町村社協会長会議の開催

平成 29 年 7 月 27 日 (木) ホテルグランテラス富山
情勢報告・意見交換会

② 市町村社協専務・常務理事、事務局長会議の開催

平成 30 年 2 月 27 日 (火) サンシップとやま
情勢報告・次年度事業及び予算説明・情報交換等

(4) 会員施設・事業所、賛助会員の加入促進

平成 30 年 3 月末現在会員状況

正会員：1,120 施設・団体 賛助会員：145 団体・個人

(5) 多様な民間財源・基金の活用と自主財源の確保

① 基金運営委員会の開催

平成 30 年 3 月 6 日 (火) サンシップとやま
報告事項 基金の積立・運用及び収益金の状況について
審議事項 平成 30 年度の基金収益金の配分案について

② 研修受講料の徴収

③ 図書斡旋による手数料収入の確保

2 情報収集と発信機能の強化

(1) 第 66 回富山県社会福祉大会の開催

県内福祉関係者が一堂に集まり、地域福祉活動の一層の充実・拡大に向けた大会宣言や大会決議の採択を行ったほか、福祉の発展に功績のある方への表彰ならびに記念講演を行った。

平成 29 年 10 月 19 日 (木) 富山県民会館

記念講演「助け合いこそが、人生を豊かにする」

講師 カレーハウス CoCo 壱番屋創業者/NPO 法人イエロー・エンジェル理事長
宗次 徳二 氏

(2) 福祉・生活課題の解決に向けた提言活動の推進

県福祉関係施策及び平成 30 年度県予算に関する要望書を平成 29 年 11 月 16 日に県・関係方面へ提出した。

(3) ウェブサイトや広報誌等の効果的活用による情報発信機能の強化

① 県社協ホームページ活用事業

情報発信の仕組みとして安定的に運用され、より閲覧しやすく情報を得やすいウェブサイトとなるよう、ページの改訂等を随時行った。

② 広報誌「福祉とやま」の発行

- ・ 広報誌「福祉とやま」（奇数月に各 12,000 部発行）

（４）各種助成金情報の提供

福祉関連の助成金情報についてウェブサイトに掲載し、広く周知するとともに助成金の問い合わせがあれば随時紹介・案内を行った。

3 組織体制の強化

（１）事務局体制の強化と職員の専門性や資質向上に向けた取組みの推進

社協職員として必要な知識・技術の習得を図るため、外部研修へ参加

- ・ 都道府県・指定都市社協新任職員研修会（2名）
- ・ 都道府県・指定都市社協管理職員研修会（1名）
- ・ 社会福祉協議会・社会福祉施設職員会計実務講座受講（1名）

（２）危機管理体制の充実

災害時初動対応計画・事業継続計画（BCP）を策定し、県内で大規模災害が発生した場合に、職員がとるべき初期行動と、限られた人員や設備で早期に業務に態勢復旧し、本会業務の中断を最小限に止めるために必要な取組みを定めた。

（３）指定管理者としての富山県総合福祉会館（サンシップとやま）の機能強化

- ① 施設の指定管理業務を富山県から受託
- ② 指定管理期間（第3期 最終年）：平成25年4月1日～平成30年3月31日（5年間）
- ③ 施設の利用状況
 - ・ 研修室等利用率 39.29%（前年比 Δ2.50%）
 - ・ 利用料収入 33,922千円（前年比 +3.77%）
 - ・ 減免団体利用率 84.85%（前年比 +0.01%）
- ④ 第4期指定管理業務を申請し、富山県から受託：2018年4月1日～2023年3月31日
(5年間)

平成29年10月6日 指定申請

平成29年10月23日 指定管理候補者選考委員会（プレゼンテーション）

（500点中、423点の得点で選定）

平成29年度事業報告附属明細書

平成29年度事業報告には、社会福祉法施行規則第2条の25第3項に規定する附属明細書の「事業報告の内容を補足する重要な事項」はありません。